

# 奨学金ガイド 2026

SCHOLARSHIP GUIDE BOOK

◆ 日本学生支援機構

■ 修学支援新制度

● 東海大学奨学金

◆ 地方公共団体奨学金

▲ 緊急時の各種支援制度

# 目次

1. 目次	p.1
2. 奨学金について	p.2
3. 奨学金の申請をする前に	p.3
4. 東海大学奨学金専用ポータル（ガクシー）	p.4～p.6
5. 目的に応じて選ぶ奨学金制度	p.7
6. 在学中に利用可能な奨学金制度一覧・奨学金スケジュール	p.8
7. 日本学生支援機構奨学金・修学支援新制度	p.9～p.25
8. 東海大学独自の奨学金	p.26～p.27
9. 特定の学部・キャンパスに関する奨学金	p.28～p.30
10. 海外派遣留学・留学生に関する奨学金	p.31
11. 緊急時の各種支援制度	p.32
12. 地方公共団体・一般育英団体奨学金	p.33～p.34
13. 学費融資制度・学費延納制度	p.35
14. よくある質問	p.36
15. 問い合わせ先	p.37

## ！奨学金について！

学ぶ意欲のある学生を経済的に支援するため、学内・学外においてさまざまな奨学金があります。奨学金は、貸与奨学金と給付奨学金があります。

### ■ 貸与奨学金

在学中に借りた奨学金を、卒業後に返還するものです。無利子のものと有利子のものがあります。返還を怠った場合、個人信用情報機関に個人情報が登録されることもあり、利用にあたっては貸与額などよくご家族で相談してから申請してください。

### ■ 給付奨学金

貸与奨学金と違い、返還の必要がない奨学金です。そのため、申請数が多く、貸与奨学金と比べて採用者数が少なくなっています。申請基準を満たしていても採用されない場合もありますので、安定した学生生活を送るために、貸与奨学金と併せて申請を検討することをお勧めします。また、東海大学奨学金制度はこの「給付型奨学金」が多いのが特徴となっています。

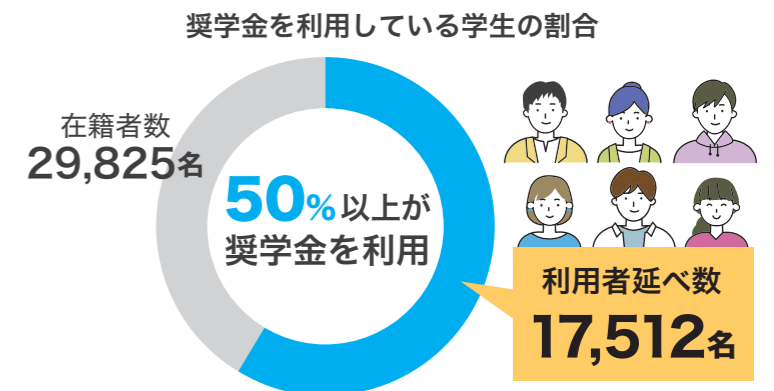
学業成績が著しく悪い場合や、素行不良が認められた場合、給付された奨学金の返金を求められることがあります。

### \*東海大学奨学金および日本学生支援機構奨学金の受給率（2025年度）

複数の本学独自の奨学金制度で、より多くの学生たちの学修を支援しています。

**学内 東海大学奨学金**  
利用者延べ人数 **2,688名**

- 学部奨学金 ..... 1,510名
- 大学院研究奨励奨学金 ..... 334名
- 留学生奨学金 ..... 144名
- 建学記念奨学金 ..... 10名
- 国際交流奨学金 ..... 41名
- その他 ..... 649名



**学外 日本学生支援機構奨学金**  
利用者延べ人数 **14,824名**

- 給付型 ..... 5,491名
- 貸与型 第一種 ..... 3,771名
- 第二種 ..... 5,562名

## ！ 奨学金の申請をする前に ！

### ● ご自身の経済状況を把握し、どのくらいの経済的支援が必要なのか考えてみましょう。

なぜ奨学金が必要なのか、どのくらいの金額が必要なのか、具体的にどのように使用するか等について十分に考える必要があります。そのためには、自分の学費納入状況や家計状況、自分自身を取り巻く経済状況の把握は欠かせません。

### ● 奨学金に関する情報は原則、奨学金専用ポータル(ガクシー)・TIPS(Tokai Information Portal Site)より発信します。(以下ガクシー・TIPS)

奨学金の募集・採否連絡等は、すべてガクシー・TIPS から配信します。情報を見落とすと、本人に不利益が生じる場合がありますので、情報は、定期的に確認するようにしてください。

### ● 貸与型奨学金を利用した場合、返還するのは卒業後のあなた自身です。

日本学生支援機構奨学金をはじめとした、貸与型奨学金は卒業後に返還の義務が生じます。借りすぎには注意してください。本人が返還を怠った場合、連帯保証人・保証人などに返還請求がなされ、滞納者には、支払督促の申し立てから強制執行に至るまでの法的手続きがなされる場合があります。

### ● 奨学金の申請をするのはあなた自身です。申請・準備等は自分で行いましょう。

申請書等の記入は、「連帯保証人・保証人署名欄」以外は学生本人が直筆で作成するものです。必ず学生本人が記入し、証明書類も親任せにせず、よく理解したうえで申請してください。申請内容の確認についても学生本人に対して行います。家計状況や申請書類についてきちんと答えられるようにしておいてください。

### ● 必ずあなた自身が提出してください。

連帯保証人や友人等の代理提出は受理いたしません。奨学金手続きは、ガクシーまたは問い合わせ先一覧に記載の所属キャンパスの奨学金担当となります。奨学金の種別によって手続き方法が異なりますので、案内等をよく確認のうえ手続きを行ってください。

### ● 所定の手続きを期間内に行わなかった場合・書類に不備があった場合、選考から外れることがあります。

不備回復が期間内に完了しなかったり、申請書類が揃わない場合、選考対象外となることがあります。提出書類は不備がないように早めに準備をしてください。万が一やむを得ない事情で期日までに手続きができない場合は、所属キャンパスの奨学金担当まで事前に相談してください。

### ● 卒業まで自動的に継続されるわけではありません。 (日本学生支援機構奨学金・修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免))

採用決定後は採用者手続きが必要になります。その後も毎年、継続の手続きを期日までに行ってください。修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免)は、学修状況報告と年1回の在籍報告を行ってください。これらの手続きが期日までに行われなかった場合は停止・廃止となります。

また、修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免)は、生計維持者の収入が増加した場合や、扶養家族の人数が変わった場合等、次年度の給付・減免が停止することもあります。また、学業成績等に応じて給付奨学金の継続に係る必要な措置をとります。

### ● 奨学金の採用後でも、採用が取り消されたり、給付された奨学金の返金が求められる場合があります。

休学・退学(除籍)・成績不振・卒業延期・他の奨学金との併給採用等により奨学金の休止・停止・廃止・採用取消や、給付された金額の一部もしくは全額の返金が必要となる場合があります。虚偽の申請や、奨学生としてふさわしくないと判断された場合も、採用が取り消されたり、給付または貸与額の全部または一部を返金する必要があります。

また、修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免)の採用者が、著しく成績不振であると判断された場合、給付奨学金の返金だけでなく、減免された授業料の追加納入が必要となります。

★ 2026年4月～ 運用開始 ★

# 東海大学 奨学金専用ポータル(ガクシー)

東海大学では奨学金の情報配信等のオンライン化を推進する目的で「東海大学奨学金専用ポータル(ガクシー)」の運用を2026年度4月より開始いたしました。

今後は、「東海大学奨学金専用ポータル(ガクシー)」より学内奨学金や日本学生支援機構(給付・貸与)に関する情報提供や手続きに関わる重要なご案内を随時配信いたしますので、**必ず初期登録・ログインを済ませてください。**

## <初期登録・ログインマニュアル> ※必ず番号順で作業を行ってください。

### [1] スマホ(WEB) 東海大学奨学金専用ポータル(ガクシー)への初回ログイン操作 1

TIPS内の「リンク」の中にある「奨学金専用ポータル(ガクシー)」をタップ

SAMLログインをタップ

学生証番号@tokai.ac.jpを入力 ※半角  
パスワードを入力  
新生入生: 「入学許可書」内の「(入学後)パスワード」を入力  
在学生: 普段使用しているパスワードを入力

サインイン

※上記については、場合によっては表示されないこともあります。

画面表示の通り進行

「続行する」をタップ

東海大ポータル(web版) ログイン完了

自分のアカウントで あるかを確認

ここまで完了したら以降は「ガクシーアプリ」での操作となります。

次ページへ続く→

Appストア・Play Storeから「ガクシー」をダウンロード



**必ず通知を「許可」する**  
 今後のお知らせや個別の連絡等が「ガクシーアプリ」を通じて行われます。

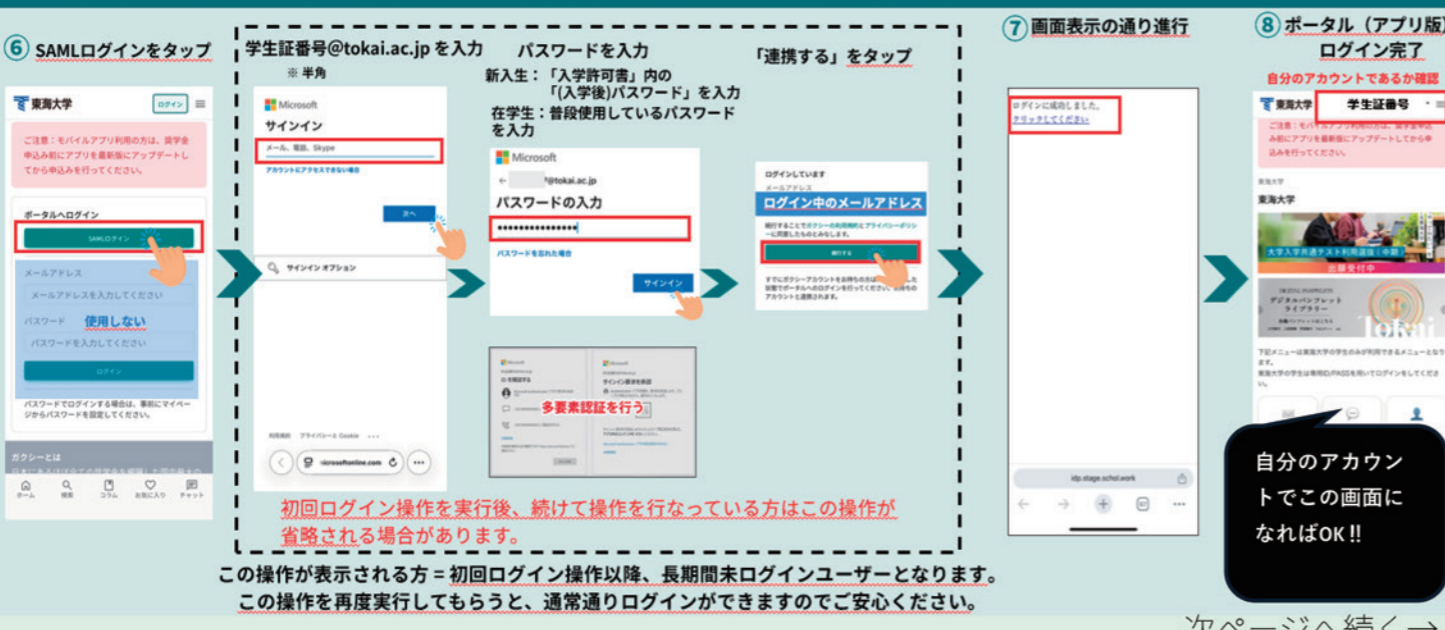


[3] スマホ (アプリ) 初回ログイン操作以降のポータルログイン方法 1/2

初回ログイン操作後、ガクシーアプリから学内専用奨学金ポータルサイトへアクセスが可能となりました。



[3] スマホ (アプリ) 初回ログイン操作以降のポータルログイン方法 2/2



次ページへ続く→

【必須】プロフィール情報の入力について

ログイン後、プロフィールの入力を必ずしてください。



【任意】保護者のメールアドレスの登録について

保護者登録を行うことで、大学からの奨学金に関わる手続きのお知らせが保護者宛にも送られます。任意ではありますが、保護者登録をお勧めいたします。

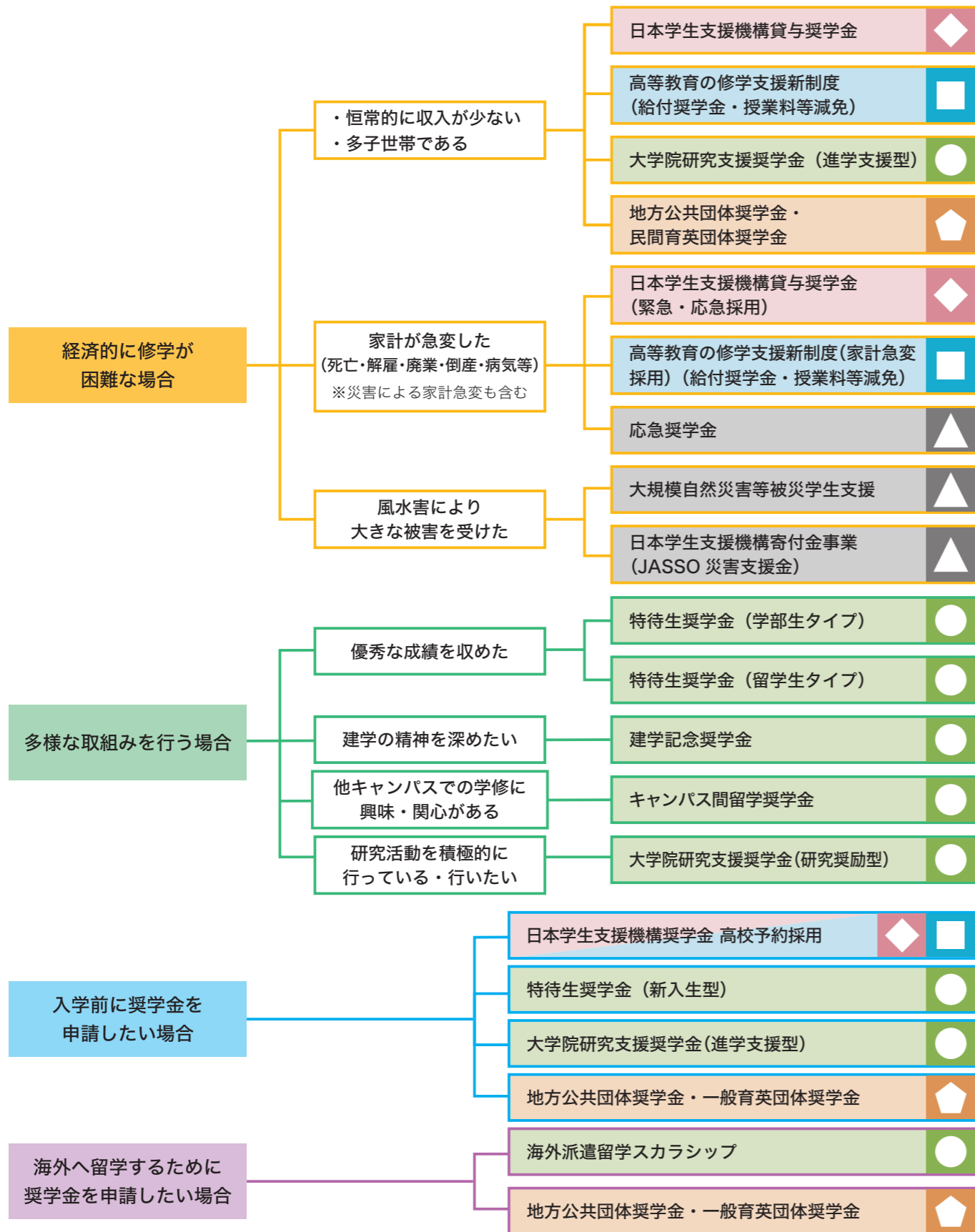


【参考情報】スマホ (WEB) 2回目以降の奨学金専用ポータルへのログインについて



# 目的に応じて選ぶ奨学金制度

東海大学では、条件・内容の異なるさまざまな奨学金制度があります。  
この冊子は、奨学金の申請を希望する皆さんが適切な奨学金に申請できるように制度の紹介・説明をします。  
下のフローチャートから自分が該当する奨学金を確認し、それぞれのページで内容を確認してください。



## 在学中に利用可能な奨学金制度一覧

	名称	種別	対象	募集形態	募集時期	金額
◆	第一種奨学金	貸与	学部/院	応募	春:4月~5月 秋:9月~10月	学部:(自宅)20,000、30,000、40,000、54,000円/月 (自宅外)20,000、30,000、40,000、50,000、64,000円/月 修士・博士前期:50,000、88,000円/月 博士後期 :80,000、122,000円/月
	第二種奨学金	貸与	学部/院	応募	春:4月~5月 秋:9月~10月	学部:20,000、30,000、40,000、50,000、60,000、70,000、 80,000、90,000、100,000、110,000、120,000円/月 院:50,000、80,000、100,000、130,000、150,000円/月
	※その他、緊急・応急採用があります。緊急採用は第一種、応急採用は第二種と同じ金額となります。					
□	授業料等減免	減免	学部	応募	春:4月~5月 秋:9月~10月	授業料:年額70万円を上限に学納金から減免
	給付奨学金	給付	学部	応募	春:4月~5月 秋:9月~10月	自宅:38,000、25,600、12,800、9,600円/月 自宅外:75,800、50,600、25,300、19,000円/月
	※支援区分は見直しにより月額が変動する可能性があります。					
●	特待生奨学金 (在学生対象)	給付	学部	応募	春:4月 秋:9月	学部生タイプ:20万円
	特待生奨学金 (在学生・留学生対象)	減免	学部	応募	春:3月 秋:9月	留学生タイプ:20万円
	建学記念奨学金	給付	学部/院	応募	4月~7月	最優秀賞:20万円 優秀賞 :10万円 入選 :5万円
	キャンパス間留学奨学金	給付	学部	応募	コースにより異なる	Aタイプ :28万円 B・C・Eタイプ :14万円 Dタイプ :2万円
	海外派遣留学スカラシップ	給付/減免	学部	応募	派遣留学先により異なる	派遣留学先により異なる
	大学院研究支援奨学金 (研究奨励型)	給付	院	応募	春:4月 秋:9月	第1種:20万円 第2種:10万円
▲	大学院研究支援奨学金 (進学支援型)	給付	院	応募	4月	入学金・授業料相当額
	大規模自然災害等被災学生支援	減免/給付	学部/院	応募	災害発生時	減免:授業料から1年間又は半年間減免 東海大学後援会奨学金:5万円または10万円給付 東海大学学生安全会見舞金制度:10万円
	応急奨学金	給付	学部/院	応募	事由発生から3か月以内	授業料の半額程度(1,000円単位は切り捨て) ※学部は40万円、大学院は20万円を上限とする ※半期(継続審査あり・最大2回)
▲	日本学生支援機構寄付金事業 (JASSO災害支援金)	給付	学部/院	応募	災害発生時	10万円
▲	地方公共団体	給付/貸与	学部/院	応募	団体によって異なる	団体によって異なる

## 入学時に利用可能な奨学金制度一覧

	名称	種別	対象	募集形態	募集時期	金額
◆	日本学生支援機構奨学金 高校予約採用	貸与/給付/減免	学部	応募	高校在学中時	入学金:26万円を上限に入学金から減免 貸与月額額は上表参照 減免・給付金額は区分によって異なる(上記参照)
	※入学金の減免は、入学初学期に修学支援制度に採用されている学生のみ対象。					
●	特待生奨学金 (新入生対象)	減免	学部	応募	対象入試の出願期間に準ずる	学費免除タイプ:入学金・授業料減免(2セメ以降給付) 入学奨励タイプ:20万円給付
	特待生奨学金 (新入生・留学生対象)	減免	学部	応募	対象入試の出願期間に準ずる	第1種:入学金・授業料減免 第2種:20万円

## 奨学金スケジュール



## ◆ 日本学生支援機構貸与・□ 給付奨学金 (修学支援新制度) 高校予約採用者の手続き

### 対象者

高校等を通じて入学前に奨学金を申し込んでおり、「令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知」(以下、決定通知)が発行されている新入生

※申込時期については、在籍する高校へ確認してください。  
 ※高校卒業程度認定試験合格者の予約採用については、日本学生支援機構への直接申し込みとなります。

### 事前準備

- 高校から受け取る決定通知等の書類一式を大切に保管し、「採用候補者のしおり」をよく読んでください。進学後に学生本人名義の口座を進学届に登録する必要がありますので、未開設の方は進学前までに開設をしてください。
- 決定通知の交付書類コードが「B」または「E」の場合、「入学時特別増額貸与奨学金(日本政策金融公庫の手続き必要)」と記載があります。この一時金を受ける場合は所定の手続きが必要になります。月額のみを希望する方は、進学届提出(インターネット入力)時に、一時金のみ「辞退」してください。
- 予約採用時点で、保証制度をどちらにするか選択していますが、進学届の提出前なら保証制度は変更可能です。制度の違いや保証人などの選任条件はP.11で確認してください。
- 決定通知に「第IV区分私立理工農」と記載のある場合は、文部科学省が定める理工農系の学科に進学しなければ給付奨学生として採用されません。ご自身の進学先の学科が対象であるかを右のQRコードから確認してください。



入学後、進学届提出から初回振込みまでの流れ	
① 決定通知など、必要書類の提出	決定通知を大学で確認後、「進学届」の入力に必要なID・パスワードを配布します。 <b>進学先のキャンパスにより案内が異なりますので、確認してください。</b>
② 「進学届」の提出	不備なく進学届を入力・提出することで、振込が始まります。
③ 初回振込み	最短で5月分から採用時点までの奨学金がまとめて入金されます。 2026年5月の振込は、2026年5月15日です。

### 提出書類

- 決定通知(進学先提出用)は、全員提出が必要です。あらかじめ裏面の「進学後記入欄」を記入しておいてください。提出時は、必ず「進学先提出用」と「本人保管用」を切り離し、「進学先提出用」を提出してください。
- 対象者のみ

対象者	必要書類
自宅外通学生(給付奨学金採用者のみ) ※自宅外の要件を満たし、自宅外月額を受け取る場合は、書類が必要です。機構で不備がなく審査が完了された次第、自宅外月額が振り込まれます。	・自宅外通学申請届 ・自宅外通学を証明する書類 (アパートの賃貸借契約書のコピー等)
外国籍の学生	・在留資格に係る申込資格を満たす証明書類 (在留カードのコピー等)

## 日本学生支援機構貸与奨学金 学部生

日本学生支援機構奨学金とは、国の育英奨学事業として(独)日本学生支援機構により運営されている奨学金です。貸与型は「第一種奨学金(無利子)」と「第二種奨学金(有利子)」の二種類があり、卒業後に返還が必要です。日本学生支援機構の推薦基準に基づき大学が推薦し、採否は日本学生支援機構が決定しますので、希望者全員が採用になるわけではありません。制度や返還に関する詳細は、下記のQRコードから、日本学生支援機構2026年度「貸与奨学金案内」をご覧ください。

	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(在学中無利子)(有利子上限年利率3%)		
対象者	学部生 成績不振により卒業延期が確定した学生および、外国人留学生は申請できません。 外国籍で、永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者・子・家族滞在(条件あり)に該当する方は申請が可能です。その場合、別途提出書類が必要となります。			
貸与月額	貸与月額についてはP.8一覧表を参照してください。			
学力基準	学力基準については、「貸与奨学金案内」を参照してください。			
家計基準 ※1	(参考)4人世帯の場合の年収・所得の上限金額			
		第一種	第二種	併用貸与
	給与所得の世帯	880万円以下	1,309万円以下	826万円以下
	給与所得以外の世帯	613万円以下	937万円以下	566万円以下
	最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。			
利率	なし	貸与終了時に決定(上限年利率3%)します。 申請時に「利率固定方式」または「利率見直し方式」のいずれかを選択		
保証制度	「人的保証制度」または、「機関保証制度」のいずれかを選択			
貸与期間 ※2	卒業までの標準修業年限(毎年12月～1月に「継続願」の提出が必須です。P.13を参照してください。)休学中は奨学金の貸与を休止します。成績不振による卒業延期者は奨学金の貸与を受けることはできず、「廃止」となります。			
貸与開始日	春:2026年4月分から 秋:2026年10月分から	春:2026年4月～9月までの間で希望する月を選択時に選択 秋:2026年10月～2027年3月までの間で希望する月を選択時に選択		
振込日 ※3	原則毎月11日に振込(4月は21日、5月は16日)*2026年は5月15日 例:7月に採用が決定し貸与始期が4月の場合は4～7月分が合算して振込されます。			
募集時期	春:4月中旬～5月上旬 秋:9月中旬～10月上旬			
推薦	日本学生支援機構の推薦基準に基づき大学が推薦し、採否は日本学生支援機構が決定します。			
返還方法	貸与終了または卒業後の翌月から7か月目に指定口座から引き落としして返還します。月賦または月賦+半年賦を返還誓約書提出時に選択してください。返還年数は、借入金額等により異なります。			

※1 2024年(1～12月)の収入に基づく2025年度住民税情報(秋に申し込む場合は、2025年(1月～12月)の収入に基づく2026年度住民税情報)により算出された貸与額算定基準額で審査されます。  
 2024年1月2日(秋募集の場合2025年1月2日)以降に転職・退職等あった方は別途提出書類が必要となる場合があります。  
 また、上限収入は家族状況によって異なりますので、別途、日本学生支援機構2026年度「貸与奨学金案内」やHP内の進学シミュレーターを参照してください。

※2 所属学科カリキュラムで卒業研究未着手による卒業延期の場合、卒業研究に着手できるまでの期間は「停止」とします。

※3 振込日が金融機関の休業日にあたる場合は、金融機関の休業日の前営業日に振り込まれます。  
 予約採用者の初回振込日は、大学入学後の手続き(進学届提出)のタイミングにより異なります。

「貸与奨学金案内」に移行

## ■ 入学時特別増額貸与奨学金

2026年4月を貸与始期として奨学金を申し込む2026年度入学者(編入学生含む)に限り、希望により初回振込時に以下の金額を増額して貸与を受けることができる制度です。入学時特別増額貸与奨学金のみの申請はできません。

貸与金額	10万円～50万円までの間で10万円単位で選択
利率	基本月額に係る利率と増額貸与利率をそれぞれの貸与額で加重平均して決定
申込条件	第一種奨学金または第二種奨学金の申込者で下記の条件のいずれかを満たす方 ①奨学金選考時の家計基準に用いられた貸与額算定基準額 <sup>(※)</sup> が75,000円以下となった人(4人世帯の給与所得者の場合で、収入が400万円程度以下) ※貸与額算定基準額については日本学生支援機構HPを参照してください。 ②①以外の人で、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申込み、貸与を受けることができなかった世帯の人

## ■ 保証制度について

貸与奨学金は、学生本人が返還不能となった時に備え、保証制度を決めておく必要があります。保証制度には次の2種類があり、必ずどちらかを選択しなければなりません。

### 「予約採用」の場合

高校での申込時には、誰を連帯保証人・保証人、または本人以外の連絡先にするかはまだ決まっていません。大学進学後の「進学届」提出時に正式な届出をすることになっていますので、それまでに「人的保証」、「機関保証」のどちらにするか決めてください。

### 「定期採用」の場合

申込時点で「人的保証」、「機関保証」の選択および人物の届出をしていただきます。

	本人の他に連帯保証人および保証人を設定し、3名体制で返還に臨む制度
人的保証制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が返還不能となった場合、連帯保証人に返還していただきます。</li> <li>本人および連帯保証人が返還不能となった場合、保証人に返還していただきます。</li> <li>連帯保証人および保証人には、採用後の返還誓約書作成時、また月額変更等の各種異動手続きの際に、提出書類への署名・捺印(実印)と印鑑登録証明書や、収入に関する証明書類を提出していただきます。</li> </ul>
	<p>連帯保証人、保証人の選任条件は以下のとおりです。</p> <p>連帯保証人：原則、父母のいずれか</p> <p>保証人：以下の条件を満たす、おじ・おば・兄弟・姉妹・いとこなど</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①本人・連帯保証人とは別生計であること</li> <li>②父母を除く、4親等以内の成年親族であること(学生不可)</li> <li>③申込時に65歳未満であること</li> </ol> <p>※その他、債務整理(破産手続き)中でないことなども選任条件に含まれます。</p>
機関保証制度	日本学生支援機構の定める保証機関(日本国際教育支援協会)に保証を依頼する制度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が返還不能となり、一定期間の催促後、日本学生支援機構の請求に基づき、保証機関が本人に代わって残額を一括返還します。</li> <li>保証機関が代位弁済した場合でも、奨学生本人は保証機関に返済する義務があります。(求償権行使)</li> <li>機関保証制度を選択している場合、毎月の貸与月額より一定の「保証料」が差し引かれ、その残額が振り込まれます。(例：月額50,000円の場合→約2,000円が毎月差し引かれます。)</li> <li>人的保証と異なり、連帯保証人や保証人を選任する必要はありませんが、本人以外の連絡先を1名設定する必要があります。(特に選任条件はないため、父母のいずれかで結構です。)</li> <li>人的保証に変更することはできません。</li> </ul>

## ■ 新規申請手続きについて

### 対象者

新規に申請を希望する1セメスター～8セメスターの学生

※受給中(予約採用中)の奨学金種別の変更または新たに追加希望する場合は、新規申請が必要です。  
※給付奨学金(修学支援新制度)も希望する方は、同時に申込をしてください。

手順1：申請要件や貸与額、保証制度を確認する		
申請資料の配布方法はキャンパスごとに異なりますので、ガクシー・TIPSをご確認ください。		
手順2：申請が完了するまでの流れ ※不備があると機構で審査が完了できません。		
春募集(春学期) 4月～5月頃	①スカラネットの入力(インターネット上)	誤入力をする、採否結果に影響が出ますので、必ず下書きを準備した上で、入力を完了させてください。貸与の場合は、入力内容をもとに「返還誓約書」が作成されます。また、マイナンバー情報の提出を行わない限り、機構で審査ができません。 ※マイナンバーカードが無くても、個人番号通知書や住民票等で情報は確認できます。
秋募集(秋学期) 9月～10月頃	②奨学金確認書兼地方税同意書を日本学生支援機構に提出	スカラネット入力後、速やかに郵送で提出してください。
	③該当者のみ、必要書類を大学へ提出	・生計維持者が海外に居住し、住民税が課税されていない場合 ・申込者本人が外国籍の場合
手順3：結果の確認と採用手続きに必要な書類の受け取り		
春募集(春学期) 6月～7月頃	①採用結果の発表・初回の奨学金振込	採否結果はガクシー・TIPSにて通知します。採用者は初回振込がされているか口座を確認してください。
	②採用手続き書類の配布	今後の注意点や返還誓約書の配布を行います。
秋募集(秋学期) 11月～12月頃	③返還誓約書の提出	署名・捺印(人的保証のみ)や、各種証明書類の提出が必要です。 <b>「返還誓約書」の提出が遅れると、振込が止まります。採用取消になる場合がありますので、速やかに提出してください。</b>

## ■ 返還誓約書の作成・提出について

採用者には採用後、「返還誓約書」等の重要書類をお渡しします。採用者に返還誓約書を提出する義務が生じます。定められた期限までに提出しなかった場合、採用取消となり、貸与された奨学金を一括返還していただきます。申請時に選択した保証制度によって提出する書類が異なりますので、下記を参照してください。

保証制度	返還誓約書の署名・捺印者	添付書類
人的保証	本人欄：①署名 ②返還方法の選択(月賦・半年賦月賦併用) 連帯保証人欄：署名・捺印(実印) 保証人欄：署名・捺印(実印)	本人：なし 連帯保証人：①印鑑登録証明書(原本) ②収入に関する証明書(コピー可) ※最新の源泉徴収票・所得証明書等 保証人：印鑑登録証明書(原本)
機関保証	本人欄：①署名 ②返還方法の選択(月賦・半年賦月賦併用) 本人以外の連絡先：署名	「保証依頼書・保証料支払依頼書」(機構・協会用)の本人署名・住所等記入

※返還誓約書提出時の書類は、申請時の提出書類とは別にご用意いただくものです。  
人的保証の「印鑑登録証明書」は、奨学金申込日から3か月前以降に発行されたものをご用意ください。

## ■ 振込日について

振込日は毎月11日(土・日・祝日と重なった場合は、金融機関の休業日の前営業日に振り込まれます。)

採用が決定した月から、振込が始まります。

ただし、4月は21日、5月は16日になります。(2026年は5月15日)

※初回振込日には、貸与始期(4月または10月)からの金額がまとめて振り込まれます。  
例) 貸与始期が4月で採用月が7月の場合、7月に4月分～7月分がまとめて振り込まれます。

## 日本学生支援機構貸与奨学金 異動手続き

機構に登録されている各種情報を変更することを「異動手続き」と言います。原則「返還誓約書」を提出した後でない、各種届出はできません。次の事項が自身に発生する(した)場合、速やかに届出手続きや相談を行ってください。

異動の内容	所定の手続きをしないと…
大学を休学・退学する	機構の規定により、休学または退学となった時点で振込を止める必要があります。連絡が遅れると余分な振込が発生し、返金が必要になる場合がありますので、速やかに申し出をしてください。 (例：10月より休学をする場合、最終受領は9月です。申し出が遅れると、10月分が振込まれ、返金が発生します。)
大学を除籍となる (主に学費未納の場合など)	休学・退学と同様、機構の規定により、除籍となった時点で振込を止める必要があります。期日までの支払いが困難な場合は、学費延納制度を利用してください。
貸与が終了する (途中辞退、廃止となる場合を含む)	奨学金の返還は貸与終了の翌月から数えて7か月後から始まります。 (例：2年生の7月に本人の自己都合により貸与を辞退すると、その7か月後の2月から返還開始) 辞退や廃止となった場合は、在学猶予願の手続きをしないと、在学中に返還の手続き案内が来てしまいます。
氏名・振込口座が変わる	機構の登録内容と異なる場合、内容不一致により、振込が止まる可能性があります。
学部・学科が変わる (転学部・転学科)	機構から発行される各種書類が古い情報のまま作成され、必要事項が手元に届かない可能性があります。
海外の大学へ留学する (休学または空セメ)	休学期間中は、休止する必要があります。空セメ(授業を履修しないセメスター)は、授業を履修していなくても在学中と同じ扱いとなるため、振込を止める必要はありません。

## 日本学生支援機構貸与奨学金 返還手続

### (1) 返還の開始時期・分割方法について

- 返還の開始は、貸与終了の翌月から数えて7か月後から開始されます。3月卒業(修了)の場合は、その年の10月から開始となります。
- 途中辞退や、退学による貸与終了の場合も同様です。途中辞退の場合は、「在学猶予願」を提出しないと、在学中から返還が始まるので、ご注意ください。「在学猶予願」を提出すれば、卒業の7か月後まで返還が猶予されます。
- 毎月の返還額は、貸与総額に応じて機構が自動的に設定した金額と、それぞれ設定した割賦方式により決定されます。割賦方法は2種類あり、返還誓約書提出時に選択することになっています。選択後の変更はできません。
- 月賦返還……毎月定額での返還です。
- 併用返還……返還金の半分は毎月返還、もう半分は半年に1回返還する、月賦と半年賦とを併せた返還です。
- 貸与終了時に、スカラネット・パーソナルまたは金融機関窓口で返還用の口座(リレー口座)の設定をしていただきます。

### (2) 延滞してしまった場合

- リレー口座を設定しなかった、残高不足で引き落としができなかった場合、「延滞」となります。一定期間、延滞が続いてしまった場合、機構から「個人情報情報機関」に個人情報が提供され、消費者ローンが組めなくなる、クレジットカードの使用が停止される、といった処置が取られる可能性があります。

### (3) 返還の猶予

- 貸与終了後も引き続き在学する場合(途中辞退や大学院への進学、留年する場合など)は、「在学猶予願」を提出することで、返還開始を待っていただくことができます。貸与終了後の翌月以降、スカラネット・パーソナルで提出をしてください。
- 卒業生も経済的に返還が困難であると判断されれば、猶予が可能ですので、日本学生支援機構の奨学金相談センターまで直接お問い合わせください。

### (4) 返還時の利率について(第二種奨学金のみ)

- 第二種奨学金の返還時の利率は、貸与終了後に決定されます。
- 返還手続きの際に配布される「貸与奨学金返還確認票」には、上限利率の3.0%で仮の計算がされています。詳細は機構HP「平成19年4月以降に奨学生に採用された方の利率 | JASSO」からご確認ください。

### (5) 具体的な返還計画の試算について

- 機構ホームページの「奨学金貸与・返還シミュレーション」から、返還計画の試算が可能です。特に第二種奨学金の場合、返還時の利率を細かく設定して試算することができますので、参考にしてください。

## 日本学生支援機構貸与奨学金 継続願手続き (採用後)

### (1) 手続き時期

年1回(12月～1月にかけて)、次年度の継続意思を確認する「貸与奨学金継続願」の手続きを行う必要があります。

継続の要件や詳細な手続き方法・日時については12月以降にガクシー・TIPSを通じて連絡します。

対象者は継続希望の有無に関わらず必ず入力をしていただきますので、締め切りまでに手続きを行わない場合は次年度より奨学金が「廃止」となります。継続願未提出による廃止の場合は、当該年度3月が最終受領月となり、返還手続きが求められます。

### (2) 手続き方法

事前に配布する「継続願入力準備用紙」を作成し、それをもとに、機構の奨学金ポータルサイト「スカラネット・パーソナル」から、奨学金個別のページにログインし、入力する手続きとなります。

スカラネット・  
パーソナルに移行



#### ? スカラネット・パーソナルとは?

申込時に利用する「スカラネット」とは別のシステムです。

採用から返還が終了するまで利用するシステムですので、採用が決定したら各自で登録を済ませておいてください。初めて利用するには「新規登録」が必要です。今後ログインする際に必要なユーザーIDおよびパスワードを自由に設定できます。

### (3) 適格認定(学業)の判定

継続願の手続きを行えば必ず継続されるわけではありません。その後、年度末に学業判定が行われます。この判定を「適格認定(学業)」と呼びます。人物・学業・経済状況などを総合的に審査されますが、学業不振者・素行不良者に対しては、「警告」、「停止」、「廃止」の判定がされます。※下記の基準表を参照。

### (4) 適格認定(学業)判定後の振込

- 「継続」「警告」……通常通り振り込まれます。
- 「停止」または「廃止」……4月以降の振込はありません。

区分	学力要件	学力以外の要件
廃止	・卒業延期が確定した ・当年度の修得単位数が皆無のものまたは極めて少ない	・「貸与奨学金継続願」を提出しなかった ・退学・除籍の処分をうけて学籍を失った(学費未納による退学・除籍を除く)
停止	・単位数の取得状況により、7セメスターから卒業研究に着手できないことが確定した(所属学科のカリキュラムより)	・停学等の処分を受けた
警告	・当年度の修得単位数が標準修得単位数の1/2以下 ・学修意欲に欠ける	
継続	上記に該当しない	

# 日本学生支援機構貸与奨学金 緊急・応急採用

進学前または在学中に生計維持者の病気等の事由により家計が急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に貸与奨学金を必要とする場合は、急変後の年収見込に基づいて審査が行われる「緊急採用・応急採用」に申請することができます。(緊急は第一種、応急は第二種)年間を通じて申請が可能ですが、すでに日本学生支援機構の貸与奨学金を利用している場合は、重複して同種類の奨学金の申請をすることはできません。  
例)すでに第一種を利用している奨学生が緊急採用に申請することはできません。

## 成績基準・月額

確実に卒業できる見込みがあることが必要です。月額は通常の貸与奨学金と同様です。

## 申請期限

急変事由の発生時期によって異なります。進学前に発生した場合は進学後3か月以内、進学後に発生した場合は事由発生から12か月以内に申請をしてください。

## 貸与期間

いつから：急変の事由が発生した月～2027年3月の間で希望する月を選択してください。

2026年度入学者は、入学日より前にさかのぼることはできません。

いつまで：原則として、標準修業年限の終期です

## 家計急変事由

家計急変事由	必要な証明書
生計維持者が死亡	戸籍謄本(抄本)や住民票の除票写し(死亡日掲載)
生計維持者が事故・病気による就労困難	・就労困難なことが分かる証明書 ・診断書、休職等の証明
生計維持者が失職(退職、倒産、廃業)	退職証明書や破産手続き開始決定の通知書等
生計維持者が震災、火災、風水害等に被災	罹災証明書、被災証明書
父母等による暴力等から避難	公的機関やNPO法人等による保護証明書等
生計維持者との離別(離婚・行方不明等)	戸籍謄本(抄本)、離婚届受理証明書、行方不明者受理票等

緊急採用・応急採用は「貸与奨学金案内」の第3部に記載



# 日本学生支援機構貸与奨学金 大学院生

日本学生支援機構奨学金とは、国の育英奨学事業として(独)日本学生支援機構により運営されている奨学金です。貸与型は「第一種奨学金(無利子)」と「第二種奨学金(有利子)」の2種類があり、卒業後に返還が必要です。日本学生支援機構の推薦基準に基づき、大学が推薦し、採否は日本学生支援機構が決定しますので、希望者全員が採用になるわけではありません。制度や返還に関する詳細は、下記のQRコードから、日本学生支援機構2026年度「貸与奨学金案内(大学院)」をご覧ください。

	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(在学中無利子)(有利子上限年利率3%)		
対象者	大学院生 留年(休学等の学籍異動のため同一学年を引き続き再履修している人を除く)に該当する期間や外国人留学生は申請できません。外国籍で、永住者、定住者、家族滞在者(条件有)、日本人(永住者)の配偶者・子に該当する方は申請が可能です。その場合別途提出書類が必要となります。			
貸与月額	貸与月額については、P.8 一覧表を参照してください。			
学力基準	学力基準については、「貸与奨学金案内」を参照してください。			
家計基準	(参考) 本人が給与所得者の場合、本人及び配偶者(配偶者は定職収入がある場合のみ)の収入金額が基準となります。			
		第一種奨学金	第二種奨学金	併用貸与
		299万円以下	536万円以下	284万円以下
		340万円以下	718万円以下	299万円以下
利率	なし	貸与終了時に決定(上限年利率3%)。申請時に「利率固定方式」または「利率見直し方式」のいずれかを選択		
保証制度	「人的保証制度」または「機関保証制度」のいずれかを選択			
貸与期間	卒業までの標準修業年限(毎年12月～1月に継続手続きが必要となります。P.13を参照してください。)休学中は奨学金の貸与を休止します。成績不振による卒業延期者は奨学金の貸与を受けることはできません。「廃止」となります。			
貸与開始日	春：2026年4月分から 秋：2026年10月分から	春：2026年4月～9月までの間で希望する月を申請時に選択 秋：2026年10月～2027年3月までの間で希望する月を申請時に選択		
振込日 ※1	原則毎月11日に振込(4月は21日、5月は16日に振込)※2026年は5月15日 例：貸与始期が4月の場合は4～7月分が合算して振込されます。			
募集時期 ※2	大学院予約(学部4年時に申請)：10月初旬～中旬 ※予約採用は、大学院に進学が決定している方が事前に申込みします。 定期募集(大学院進学後に申請)：4月中旬～5月上旬 二次募集：9月中旬～10月上旬			
推薦	日本学生支援機構の推薦基準に基づき大学が推薦し、採否は日本学生支援機構が決定します。(在学採用で申請し、7月に採用が決定した場合)			
返還方法	貸与終了または卒業後の翌月から7か月後に指定口座から引き落としして返還します。月賦または月賦+半年賦を返還誓約書提出時に選択してください。返還年数は、借入金額により異なります。			

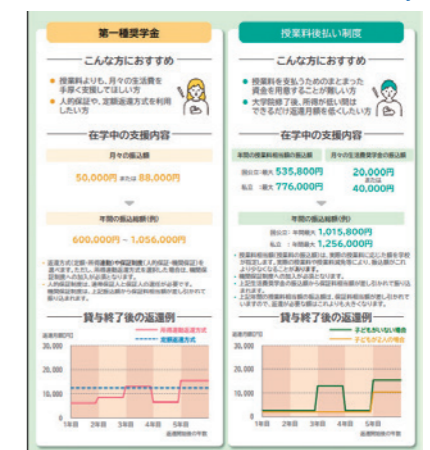
※1 振込日が金融機関の休業日にあたる場合は金融機関の休業日の前営業日に振り込まれます。予約採用者の初回振込日は進学届提出のタイミングにより異なります。  
※2 所属のキャンパスにより案内方法が異なります。また、東海大学以外の大学院へ進学する場合は、直接進学先の大学院へお問い合わせください。

## 大学院修士段階の在学者向け 授業料後払い制度について

大学院修士課程・博士課程前期の在学者が、在学中は授業料を納付せず、卒業後の所得等に応じて納付(後払い)ができる制度です。機構が授業料相当額の奨学金を貸与したものと、在学中の授業料が直接大学の口座に振り込まれ、学生は卒業後に機構に返還します。

申請時期：入学時期に応じて異なります。

申込条件	第一種奨学金と同様(第一種との併用は不可)
授業料相当額の奨学金	私立：最大776,000円(年額)
生活費奨学金	月額2万円/4万円のどちらかを選択(希望者のみ、本人名義の口座へ振込)
貸与終了後の返還	・所得に応じて返還月額が決定されます。 ・返還者本人に子どもがいると、返還月額が減額されます。 ・機関保証制度への加入が必須で、最終的な貸与額には保証料が含まれます。 ・「特に優れた業績による返還免除制度」の申請が可能です。



## 返還支援制度

日本学生支援機構（JASSO）奨学金や地方育英奨学金の返還免除または返還額の一部を支援する制度があります。

### ■ 日本学生支援機構の制度

大学院生対象

#### 【特に優れた業績による返還免除制度について】

日本学生支援機構第一種奨学金（大学院）の貸与を受けた者で、在学中に特に優れた業績をあげた者について、奨学金の全額または半額が免除される制度です。

（申請方法については、時期が来たら所属キャンパスの奨学金担当、または研究科の各指導教員に確認してください。）

**対象者** 《第一種奨学金》の貸与を受け、当該年度に貸与が終了する大学院生  
 ※貸与終了または辞退する年度のみ申請となりますので、ご注意ください。  
 ※その他対象者条件あり。詳細は募集要項をご確認ください。

**免除人数 免除額** 《第一種奨学金》の貸与期間終了者数の100分の30以下  
 全額免除……免除人数のうち、推薦順位の上位3分の1以内の者  
 半額免除……免除人数のうち、上記以外の者

**評価対象** 学問分野での成果や発明・発見、専門分野に関する文化・芸術・スポーツにおける活躍、ボランティア等での社会貢献等

**募集時期** 貸与終了年度の12月下旬～翌年1月以降、研究科を通じて出願  
 ※途中辞退する場合は、辞退した年度中に申請が必要です

**採否結果** 東海大学選考委員会における学内選考結果の通知……3月下旬  
 日本学生支援機構より採用者本人宛に通知……7月下旬以降

年度	課程	貸与終了者数	全額免除認定者数	半額免除認定者数
2022	修士	124	13	24
	博士	14	2	3
2023	修士	101	10	20
	博士	6	1	2
2024	修士	143	15	28
	博士	10	2	2

#### 【博士課程（後期）対象 返還免除内定制度について】

大学院博士課程（後期）に入学し、日本学生支援機構《第一種奨学金》（大学院）の貸与を受けることになった者が、貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除」の候補者としてあらかじめ内定となり得る制度です。

内定者となった場合は、在学中（貸与期間中）に特に優れた業績をあげることにより、正式に奨学金の全額または半額返還が免除されます。

なお、貸与期間中に、奨学金の交付に係る「停止」「廃止」の処置を受けた場合や修業年限内で課程を修了できなくなった場合等、内定取消になります。ただし、その場合においても「特に優れた業績による返還免除制度」への申請は可能です。

**対象者** 大学院博士課程（後期）に1年次または一貫性博士課程（後期）3年次相当へ入学し《第一種奨学生》として採用された者  
 ※採用種別（予約採用、在学定期採用、緊急採用、秋採用）の採用者が対象  
 ※国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業 次世代 AI 人材育成プログラム（BOOST）」の支援を受けた者は対象外  
 ※海外大学院学位取得型対象、海外協定派遣対象の採用者は対象となりません

**免除人数 免除額** 日本学生支援機構より配分された人数  
 「特に優れた業績による返還免除制度」に申請後、全額免除または半額免除を決定  
 ※内定の段階では免除額は決定しません。

**評価対象** 博士課程入試の成績、修士課程（博士課程前期）の成績、研究科長からの推薦  
 学問分野での成果や発明・発見、専門分野に関する文化・芸術・スポーツにおける活躍、ボランティア等での社会貢献等

**募集時期** 大学院博士課程（後期）の1年次または一貫性博士課程（後期）3年次相当へ入学した年の12月下旬～翌年1月以降、研究科を通じて出願

**結果発表 実績** 翌年7月下旬以降に日本学生支援機構からの結果を学校より通知します。

年度	課程	内定候補者数	内定者数
2022	博士	10	1
2023	博士	8	1
2024	博士	10	1

#### 【修士課程・博士課程（前期）対象 返還免除内定制度について】

大学院修士課程・博士課程（前期）進学予定者を対象に、該当課程で受ける予定の日本学生支援機構《第一種奨学金》（大学院）について、貸与終了時に決定する「特に優れた業績による返還免除」の候補者としてあらかじめ内定となり得る制度です。

内定者となった場合は、在学中（貸与期間中）に特に優れた業績をあげることにより、正式に奨学金の全額または半額返還が免除されます。

なお、2年生以上へ進級時の中間評価で内定者として相応しい成績をあげているかどうかを確認し、満たしていない場合は内定取消になります。ただし、その場合においても「特に優れた業績による返還免除制度」への申請は可能です。

**対象者** 学部4年生で、申請時点で修学支援新制度を利用している者、または住民税非課税世帯である者  
 ≪支援区分別の内定制度推薦可否≫

修学支援新制度における多子世帯ではない		修学支援新制度における多子世帯である	
支援区分の名称	申請可否	支援区分の名称	申請可否
第Ⅰ区分	○ <sup>(※)</sup>	第Ⅰ区分（多子）	○ <sup>(※)</sup>
第Ⅱ区分	○ <sup>(※)</sup>	第Ⅱ区分（多子）	○ <sup>(※)</sup>
第Ⅲ区分	○ <sup>(※)</sup>	第Ⅲ区分（多子）	○ <sup>(※)</sup>
第Ⅳ区分（理工農）	○ <sup>(※)</sup>	第Ⅳ区分（多子）	○ <sup>(※)</sup>
第Ⅳ区分（対象外）	×	多子世帯	○ <sup>(※)</sup>
支援区分対象外	×		

(※) 資産超過で停止中の場合は本内定制度の対象外です

**免除人数 免除額** 日本学生支援機構より配分された人数  
 「特に優れた業績による返還免除制度」に申請後、全額免除または半額免除を決定  
 ※内定の段階では免除額は決定しません。

**評価対象** 大学院入試の成績、学部時の成績、研究活動等の業績および貸与期間中の研究計画と展望等  
**募集時期** 学部4年次の11月中旬～1月下旬（予定）、大学HPに掲載

**結果発表 実績** 翌年7月下旬以降に日本学生支援機構からの結果を学校より通知します。

年度	課程	内定候補者数	内定者数
2022	修士	3	3
2023	修士	12	6
2024	修士	7	4

### ■ 地方自治体の制度

地方公共団体および地元産業界が協力した返還支援や都道府県独自の奨学金がありますので、U・I・Jターン等の就職の際には、それぞれの自治体等にご確認ください。

# 修学支援新制度 概要（授業料等減免と給付奨学金）



この制度は、日本学生支援機構からの給付奨学金と授業料等減免の支援がセットになっています。基本的に給付奨学金に採用されると、授業料等減免を受けられますが、どちらか一方のみ支援を受ける場合でも、必ず日本学生支援機構の給付奨学金に申請する必要があります。

## 申請方法

- ① 予約採用**  
高校在学中に申込み、採用候補者となっている新入生が、進学後手続きを行い採用者となります。
- ② 定期採用**  
大学入学後、新規募集（4月または9月）に申込み、採用者となります。また、生計維持者の死亡や事故、病気など予期できない事由で家計が急変（家計急変）した場合、事由発生後3か月以内であれば家計急変採用の対象として申請可能です。

## 採用基準

採用になるには、以下の要件を全て満たしている必要があります。

### 学業成績や学修意欲に関する要件

新入生	2年次生以上
次のいずれかに該当すること ① 高校等における評定平均値が3.5以上であること ② 高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③ 将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること	大学での学修成績が次のいずれかに該当すること ① 所属学科におけるGPAが上位1/2以内であること ② 修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

### 世帯収入や資産に関する要件（次のア・イいずれにも該当する者）

#### ア 収入に関する基準

- 第Ⅰ区分 学生本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること
- 第Ⅱ区分 学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること
- 第Ⅲ区分 学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること
- 第Ⅳ区分 学生本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上154,500円未満であること

#### イ 資産に関する基準

- 学生本人と生計維持者の資産額の合計が5,000万円未満であること
- ※支給額算定基準額 = 課税標準額 × 6% - (調整控除額 + 調整額) (100円未満切り捨て)
- 詳細は、「[進学資金シミュレーター](#)」でおおよその試算ができます。

### 高校卒業から入学までの期間に係る要件

高校を卒業した日の属する年度の翌年度の末日から、大学に入学した日までの期間が2年を経過していない者  
※卒業した年度の翌年度末から2年を経過する前に入学することが困難であったと公的証明書類で認められる場合はこの限りではありません。  
※編入学や転学、高等学校卒業程度認定試験に合格している方は、別途基準があります。

### 国籍・在留資格等に関する要件

- ・日本国籍を有していること
  - ・外国籍の場合、ア～エいずれかに該当する人
    - ア 法定特別永住者
    - イ 在留資格が「永住者」、「日本人の配偶者」、「永住者の配偶者等」
    - ウ 在留資格が「定住者」、であって、日本に永住する意思がある人
    - エ 在留資格が「家族滞在」かつ条件を満たす人
- ※ア～エ以外は支給の対象となりません（留学等）

## 支援期間

採用時から標準修業年限（卒業するまで）に限ります。ただし、家計状況や学業成績によっては、年度途中の区分変更や「停止」「廃止」等の措置がとられることもあります。

- 家計……毎年10月に所得による区分の見直しがあり、区分が変更された場合は減免額・給付額も変更されます。また、いずれの区分にも該当しない（支援区分外）場合、「停止」となります。
- 学業……毎年3月に標準修業年限までに卒業不可、または一定基準以下の成績であることが判明した場合、「廃止」または「停止」となる場合があります。

## 支援内容

採用された区分によって、授業料等減免や月額支給の金額が異なります。

1子・2子世帯 (資産要件：授業料等減免・給付奨学金とも5,000万円未満)				扶養する子の数が3人以上である多子世帯 (資産要件：授業料等減免3億円未満、給付奨学金5,000万円未満)			
収入目安	支援区分	授業料等減免 (年額・上限)	日本学生支援機構からの 給付奨学金 (月額支給)	収入目安	支援区分	授業料等減免 (年額・上限)	日本学生支援機構からの 給付奨学金 (月額支給)
～270万円	第Ⅰ区分	入学金 260,000円 授業料 700,000円	自宅通学：38,300円 (42,500円) 自宅外通学：75,800円	～270万円	第Ⅰ区分 (多子世帯)	入学金 260,000円 授業料 700,000円	自宅通学：38,300円 (42,500円) 自宅外通学：75,800円
～300万円	第Ⅱ区分	入学金 173,400円 授業料 466,700円	自宅通学：25,600円 (28,400円) 自宅外通学：50,600円	～300万円	第Ⅱ区分 (多子世帯)		自宅通学：25,600円 (28,400円) 自宅外通学：50,600円
～380万円	第Ⅲ区分	入学金 86,700円 授業料 233,400円	自宅通学：12,800円 (14,200円) 自宅外通学：25,300円	～380万円	第Ⅲ区分 (多子世帯)		自宅通学：12,800円 (14,200円) 自宅外通学：25,300円
～600万円	第Ⅳ区分 (理工農系)	入学金 86,700円 授業料 233,400円	月額支給なし	～600万円	第Ⅳ区分 (多子世帯)		自宅通学：9,600円 (10,700円) 自宅外通学：19,000円
～600万円	多子世帯			600万円～	多子世帯		月額支給なし

※入学金の減免は、入学後3か月以内に減免申請を行い、認定を受けた学生（高校予約採用者と1セメスター目に採用された在学採用者）が対象です。  
※月額支給のカッコ内は、生活保護を受けている生計維持者と同居している方や社会的養護を受けている方の受給額です。  
※第Ⅳ区分（理工農系）は、文部科学省が定めている学部・学科に進学・在学される方が対象です。  
※収入基準が理工農と多子世帯の両方に該当する場合、多子世帯に採用されます。

## 併給調整

修学支援新制度を利用する方が、日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）の貸与も受ける場合、支援区分に応じて第一種奨学金の月額が調整されます。併給調整で第一種奨学金の振込金額が0円の場合でも、第一種貸与奨学生としての身分がありますので、返還誓約書の提出や継続願の手続きをする必要があります。



### 多子世帯支援対象者でない場合

学校種別・給付奨学金の区分	私立	
	自宅通学	自宅外通学
大学	第Ⅰ区分	0円
	第Ⅱ区分	0円
	第Ⅲ区分	21,700円 (20,000円、30,300円)
	第Ⅳ区分 理工農系	20,000円、34,500円 (20,000円、30,000円、44,500円)

※月額支給のカッコ内は、生活保護を受けている生計維持者と同居している方や社会的養護を受けている方の受給額です。

### 多子世帯支援対象者の場合

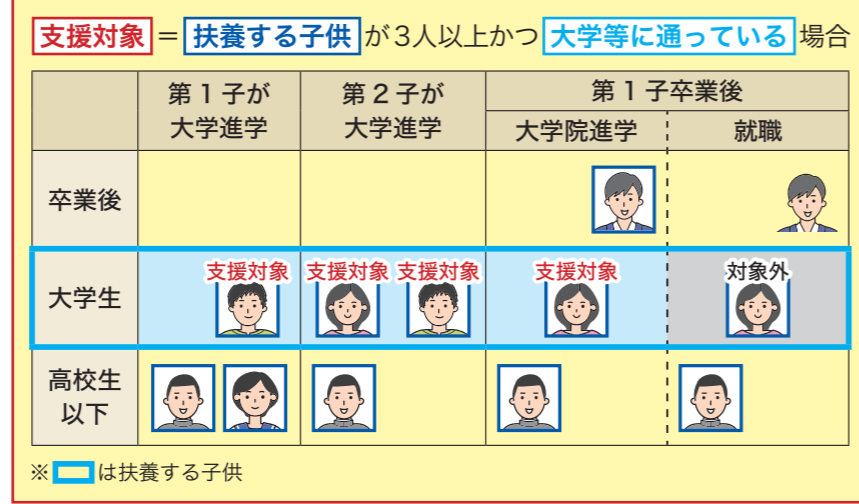
学校種別	支援区分	私立	
		自宅通学	自宅外通学
大学	第Ⅰ区分 (多子世帯)	0円	0円
	第Ⅱ区分 (多子世帯)	0円	0円
	第Ⅲ区分 (多子世帯)	0円	0円
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0円	0円
	多子世帯	0円	5,600円

## 多子世帯に対する大学等の授業料等無償化について

3人以上扶養している子供がいるご家庭（多子世帯）の学生に対し、大学の授業料及び入学金を国が定める上限まで減免する制度です。（私立大学の場合、入学金26万円・授業料70万円。）  
支援を受けるためには、まず日本学生支援機構の給付奨学金に大学を通じて申請する必要があります。

多子世帯		
支援区分	給付奨学金 (上限)	授業料等減免 (上限)
第I区分 (多子世帯)	90万円/年	入学金 260,000円  授業料 700,000円
第II区分 (多子世帯)	60万円/年	
第III区分 (多子世帯)	30万円/年	
第IV区分 (多子世帯)	22万円/年	
多子世帯の 判定のみ	月額支給なし	

多子世帯は、どの区分でも  
授業料等の減免額が満額（限度額）です。



多子世帯の要件→生計維持者（父母等）の扶養する子・年下の親族が3人以上いる世帯	
原則、申請時点で確定している前年以前の12月31日時点の住民税の課税情報を、日本学生支援機構がマイナンバー情報をもとに確認します。 (2026年春採用の場合、2024年12月31日時点) (2026年秋採用の場合、2025年12月31日時点)	<b>【資産要件の上限額】</b> 給付奨学金（区分I～IV）は5000万円未満、 授業料等減免は3億円未満  <b>【所得制限】</b> なし
<b>扶養する子の範囲</b>	住民税情報により確認できる <b>生計維持者の被扶養者のうち…</b> ・生計維持者の子（実子・養子）に該当する者 （課税情報に反映されていない申請の直前に「新たに出生した実子」などを含む） ・生計維持者の年下の親族（弟妹など） ※配偶者は含まれません。

機構が判定する基準日の翌日から一定の期間までに、以下の条件に当てはまる場合は、申告が必要です。

- ・生計維持者の実子が出生した
- ・生計維持者が里子を委託された
- ・生計維持者と特別養子縁組をした
- ・生計維持者の死別や離婚、暴力等からの避難等の事由で、扶養の事実があるにもかかわらず住民税情報では確認できない子について、生計維持者と生計を一にしていると認められる場合

採用時期	対象期間
2026年春採用	2025/1/1～2026/3/31
2026年秋採用	2026/1/1～2026/8/31

新たに生まれた  
子等の取扱い



注意  
ポイント

住民税情報で生計維持者の扶養する子供の合計が3人以上と確認できない場合や、申込時のスカラネットで子供の数の合計を2人以下で申告した場合、多子世帯として採用されません。税の更正により税情報に変更が生じた方は再判定の対象となることがありますが、結果まで数ヶ月かかってしまいますので税情報をよく確認してください。

## 修学支援新制度 申請から採用中の手続き

本奨学金は、毎年4月と9月に新規申請が可能です。（原則年2回の募集となっていますのでご注意ください。）

### 対象者

新規に申請を希望する1 Semester～8 Semesterの学生 ※貸与奨学金も希望する方は、同時に申込が可能です。

#### 手順1：申請要件や支援内容を確認する

申請資料の配付方法はキャンパスごとに異なりますので、各自ご確認ください。

#### 手順2：申請が完了するまでの流れ ※不備があると機構で審査が完了できません。

募集時期	申請内容	備考
春募集（春学期） 4月～5月頃 秋募集（秋学期） 9月～10月頃	①スカラネットの入力 (インターネット上)	誤入力をする、採否結果に影響が出ますので、必ず下書きを準備した上で、入力を完了させてください。 貸与の場合は、入力内容をもとに「返還誓約書」が作成されます。 また、マイナンバー情報の提出を行わない限り、機構で審査ができません。 ※マイナンバーカードが無くても、個人番号通知書や住民票等で情報は確認できます。
	②奨学金確認書兼地方税同意書を日本学生支援機構に提出	スカラネット入力後、速やかに郵送で機構に提出してください。
	③該当者のみ、必要書類を大学へ提出	・生計維持者が海外に居住し、住民税が課税されていない場合 ・申込者本人が外国籍の場合

#### 手順3：採用後

募集時期	申請内容	備考
春募集（春学期） 6月～7月頃 秋募集（秋学期） 11月～12月頃	①採用結果の発表および初回の奨学金振込み	採否結果はガクシー・TIPSにて通知します。採用者は初回振込がされているか口座を確認してください。
	②採用決定書類の配布	今後、受給する上での重要事項の伝達や、採用結果に関する重要書類の配布を行います。

### 採用手続き書類の配布（初回振込後に実施）について

採用者には「奨学生証」等の重要書類をお渡しします。

### 振込日について

振込日は毎月11日（土・日・祝日と重なった場合は、金融機関の休業日の前営業日に振り込まれます。）

採用が決定した月から、振込が始まります。

ただし、4月は21日、5月は16日になります。（2026年は5月15日）

※初回振込日には、給付始期（4月または10月）からの金額がまとめて振り込まれます。

例）給付始期が4月で採用月が7月の場合、7月に4月分～7月分がまとめて振り込まれます。

### 授業料など免除・還付について

入学金の減免は、入学初学期に修学支援新制度に採用された方のみ対象です。

採用が確定した新生生には、すでに納入済みの授業料・入学金の減免額を、給付奨学金の学生名義の振込口座に還付します。

2回目以降の学費は、減免された金額の学費納付書を送付します（原則）

在学中で新規に申請する場合は、採用確定後に学費が減免されます。採用確定後、減免された金額の学費納付書が発行されますので必要に応じて期日までに学費延納手続き（P.35参照）を行ってください。

期日までに学費延納手続きがされていない場合は、通常の学費を納入後の還付となります。

## ■ 自宅外通学について

給付奨学金は、通学形態により支給月額が異なります。大学への通学が自宅外（一人暮らし・寮）からの場合は、採用後に書類を提出し、機構で審査が完了してから自宅外月額が振り込まれます。

※審査が完了するまでは、自宅月額です。

奨学生が生計維持者と同居している場合や奨学生または生計維持者以外の方が家賃を支払っている場合、自宅外の扱いではありません。また、以下の要件を満たしている必要があります。

### ・要件

- ①実家（生計維持者いずれもの居住地）から大学等までの距離が片道 60 キロメートル以上（目安）
- ②実家から大学等までの通学時間が片道 120 分以上（目安）
- ③実家から大学等までの通学費が月 1 万円以上（目安）
- ④実家から大学等までの通学時間が片道 90 分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が 1 時間あたり 1 本以下（目安）
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

### ・提出書類

機構指定の様式「自宅外通学申請届」の他に証明書類が必要です。状況に応じて提出書類は異なります。一人暮らしの場合は、賃貸借契約書のコピー、居住証明書、支払い実績証明書等を予めご用意ください。学生寮の場合は、入寮証明書（入寮の事実や入寮が義務であることが分かるもの）が必要です。ご自身の状況に応じて提出する書類が異なりますので、QR コードを確認し、フローチャートをご覧ください。

自宅外通学について



## ■ 修学支援新制度採用者の年間手続き

月	手続き	備考
4月	在籍報告 ※採用時期によっては不要の場合あり ※休・停止中・支援区分対象外の状態でも見直しがあるため報告が必要です。	スカラネット・パーソナル上で入力します。例年、生計維持者（父・母）の扶養情報の誤りが発生しています。支援区分の見直し(当該年 10 月～翌年 9 月)に影響がありますので、誤りが無いよう特に注意して回答してください。
10月	適格認定（家計）	申込時に提出したマイナンバー情報を基に、機構で審査されます。（大学では審査できません。）ご家庭の状況によっては、見直しのために別途書類の提出が求められる場合があります。
12月	学修状況報告書の提出	適格認定（学業）を判定する資料として、学修状況を確認します。
3月	適格認定（学業）	学業成績を機構の学力基準に照らして大学で判定を行う（本人手続不要）

### ? スカラネット・パーソナルとは？

申込時に利用する「スカラネット」とは別のシステムです。

給付の場合、支援区分を確認したり在籍報告の手続きをするシステムです。各自で登録を済ませておいてください。初めて利用する際には「新規登録」が必要です。採用が決定したら今後ログインする際に必要なユーザー ID およびパスワードを自由に設定できます。



## ■ 適格認定（家計）

年 1 回（10 月）に、4 月に行う在籍報告の情報（奨学生本人と生計維持者の住民税情報）に応じた支援区分の見直しが機構によって行われ、10 月以降の 1 年間（10 月～翌年の 9 月まで）の支援区分が決定されます。家計急変の場合は 3 か月ごとに見直しがされます。

例) 2026 年 4 月～9 月までは支援区分Ⅲだった場合でも、2026 年 10 月～2027 年 9 月はⅣ（理工農）になる場合があります。

## ■ 適格認定（学業）

年度末の成績より、次年度 4 月以降の継続の可否を判定します。給付奨学金は貸与奨学金より厳しい基準であるため、貸与と併給している場合、貸与の振込は継続されても、給付は打ち切られることがあります。

区分	学業成績の基準（いずれかに該当）	4 月以降の給付奨学金	4 月以降の授業料減免
廃止 (返還あり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得単位数が標準単位数の <b>1 割以下</b></li> <li>・ 学修意欲があるとは認められないと判定された場合</li> </ul>	振り込まれません。また、支給済みの奨学金を学年の始期に遡って返還していただきます。	減免はありません。また、減免済の授業料相当額を追加納入していただきます。
廃止 (返還なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準修業年限で卒業できないことが確定</li> <li>・ 修得単位数の合計数が標準単位数の <b>6 割以下</b></li> <li>・ 学修意欲が著しく低いと判定された場合</li> <li>・ 連続して警告に該当した場合</li> </ul>	振り込まれません。	減免はありません。
停止	<p><b>警告の区分に該当する学業成績に連続して該当すること</b>（2 回目の警告が GPA 下位 4 分の 1 の基準のみに該当することによる場合に限る。）</p>	振り込まれません。 ※次回の適格認定で継続に該当する場合、復活が可能です。	減免はありません。 ※次回の適格認定で継続に該当する場合、復活が可能です。
警告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修得単位数の合計数が標準単位数の <b>7 割以下</b></li> <li>・ <b>GPA が下位 4 分の 1</b> の場合</li> <li>・ 学修意欲が低いと判定された場合</li> </ul>	振り込まれます。	減免されます。
継続	廃止、停止、警告に該当しない者	振り込まれます。	減免されます。

## 修学支援新制度 家計急変採用

学部生対象

この奨学金は、予期できない事由により家計が急変した際に利用できる制度です。下表の家計急変事由のいずれかに該当する場合は、通年で申請が可能です。

採用されると修学支援新制度（給付奨学金・授業料等減免）の支援を受けることができます。

申請時に事由が解消（再就職をした等）している場合や、収入減少を伴わない家計支出の増加、生計維持者の定年退職・離婚・失踪は支援の対象ではありません。

### 支給要件・成績基準・支給金額

通常の給付奨学金と同じです。

すでに給付奨学金に採用されている場合は、家計急変採用に新規申請することはできません。

※すでに給付奨学生で採用されているが、家計急変事由が発生した場合、「支援区分変更願」を提出して、区分見直しの審査を受けることが可能です。

### 申請期限

急変事由の発生後3か月以内に申請をしてください。進学前に事由発生している場合は進学後3か月以内に申請をしてください。

### 給付開始年月

スカラネット入力完了年月が給付の支給開始年月です。事由が進学前で、進学後3か月以内に申請した場合は、進学した年月になります。

### 家計急変事由

	家計急変事由	必要な証明書
A	生計維持者の死亡	戸籍謄本（抄本）や住民票の除票写し（死亡日掲載）
B	生計維持者の事故・病気による就労困難（3か月以上）	・医師による診断書 ・休職等の証明書
C	生計維持者の失職（非自発的失業の場合に限る）	雇用保険受給資格者証（第1面・第3面・第4面）
D	生計維持者が震災、火災等に被災かつ上記A～Cいずれかに該当 もしくは、生計維持者の行方不明等	罹災証明書
E	父母等による暴力等から避難	〈機構の所定の様式〉保護証明書

### 収入基準

以下の①+②が通常の定期採用の収入基準額を満たすか

- ①：家計急変の事由に該当する生計維持者  
申請時に提出された収入証明書からの年間所得見込額と住民税情報を勘案し、支給額算定基準額を算出
- ②：家計急変の事由に該当しない生計維持者と申込者本人  
住民税情報から、支給額算定基準額を算出



※以前から非課税世帯の場合は、通常の募集（春・秋）への申し込みを検討してください。

※奨学金支給期間中、3か月ごと（提出した給与明細等の証明書が12か月分以上となった後は1年ごと）に、機構が家計急変に該当する生計維持者の【給与明細書等】に基づき、収入に係る基準による支援区分の見直しを行います。

## 東海大学独自の奨学金

2026年度より東海大学独自の奨学金制度がリニューアルされました。従来の制度から内容が大きく変更されていますので、申請を希望する方は、募集要項を必ずご確認ください。募集についてはガクシー・TIPSにて周知いたします。具体的な出願期間や発表時期等については、所属キャンパスの奨学金担当に直接お問い合わせください。

### ① 特待生奨学金（在学生対象）

学部生対象

応募者の中から、各学部・学科にて人物・学業成績等を総合的に審査し、優秀な学部生に対し給付します。（奨学金の振込口座は、キャンパスによって銀行を指定する場合があります。）

給付金額	学部生タイプ 20万円 / 学期	
出願資格	① 学部生【第2～8セメスターの学生】 ② 前学期の所属学科順位が上位10%以内の者 ※留学生は私費留学生（在留資格「留学」）のみ対象となります。 ※併給不可の奨学金がありますので注意してください。 ※転部科・編入学した該当セメスターは対象外となります。 ※医学部医学科をのぞく。	
出願期間*	春学期：4月6日（月）～4月17日（金）	秋学期：9月24日（木）～10月7日（水）
出願方法	ガクシーから出願	
採用発表 振込時期	春学期採用者 7月中旬 → 振込時期 8月下旬（予定）	秋学期採用者 11月下旬 → 振込時期 1月上旬（予定）
採用期間	半期ごとの採用	
備考	採用人数は学科在籍人数50名に対して1名採用とする。	

※出願期間・出願方法が変更になる場合があります。その際はガクシー・TIPSにてご連絡します。

※特待生奨学金（在学生・留学生対象）と併願が可能です。特待生奨学金（在学生・留学生対象）に採用された場合本奨学金制度の出願は自動取り下げとなります。

### ② 大学院研究支援奨学金（研究奨励型）

大学院生対象

応募者の中から、各研究科・専攻にて人物・学業成績等を総合的に審査し、優秀な大学院生に対し給付します。（奨学金の振込口座は、キャンパスによって銀行を指定する場合があります。）

給付金額	(1種) 20万円 / 学期 (2種) 10万円 / 学期	
出願資格	修士課程・博士課程（前期）（第2～4セメスター）に在籍する学生 ※留学生は私費留学生（在留資格「留学」）のみ対象となります。	
出願期間*	春学期：4月13日（月）～4月24日（金）	秋学期：9月3日（木）～9月16日（水）
出願方法	ガクシーから出願	
採用発表 振込時期	春学期採用者 7月中旬 → 振込時期 8月下旬（予定）	秋学期採用者 11月上旬 → 振込時期 12月下旬（予定）
採用期間	半期ごとの採用	
備考	採用人数は研究科毎に異なる。	

※出願期間・出願方法が変更になる場合があります。その際はガクシー・TIPSにてご連絡します。

### ③ 大学院研究支援奨学金（進学支援型） 給付

大学院生対象

成績優秀だが経済困窮により進学が困難な大学院生に対し、奨学金を給付します。

給付金額	入学金・授業料相当額（給付）
出願資格	①東海大学大学院推薦入学試験（春学期一期/二期）出願時点で高等教育の修学支援新制度第Ⅲ区分以上を受給している者 ②大学院推薦入試を受験した者で2026年4月に修士課程もしくは博士課程（前期）へ入学する者
出願書類	①願書 ②証明書類
出願方法	出願書類を期日までに所属キャンパスの奨学金担当へ提出
出願期間	4月6日（月）～4月24日（金）
採用期間	4月1日（水）～9月30日（水）
採用発表	2026年6月下旬予定

※出願期間・出願方法が変更になる場合があります。その際はガクシー・TIPSにてご連絡します。

### ④ キャンパス間留学奨学金 給付

学部生対象

大学院生対象

東海大学キャンパス間留学制度に基づき履修を認められた学生に対し、奨学金を給付します。（セッションコースを除き、在学中1回に限る。）

給付金額	在籍キャンパスおよび派遣先キャンパス両方への通学が自宅外からの場合28万円 在籍キャンパスまたは派遣先キャンパス片方への通学が自宅からの場合14万円 関東地区と静岡地区とのキャンパス間留学の場合…………… 14万円 学校法人東海大学が設置する教育研究施設の場合…………… 14万円 セッションコースの場合…………… 2万円
出願資格	東海大学キャンパス間留学制度に基づき履修を認められた学生で、通算 GPA 値が 2.0 以上（2021 年度以前に入学した学生は 1.0 以上）である者
出願期間	(1) 2026 年度春学期 1 セメスターコース 2025 年 12 月 3 日（水）～ 1 月 16 日（金） (2) 2026 年度春学期 サマーセッションコース 2026 年 4 月 6 日（月）～ 5 月 29 日（金） (3) 2026 年度秋学期 1 セメスターコース 2026 年 6 月 1 日（月）～ 7 月 17 日（金） (4) 2026 年度秋学期 ウィンターセッションコース 2026 年 9 月 18 日（金）～ 10 月 30 日（金）
出願方法	出願書類を所属キャンパスのキャンパス間留学担当窓口へ提出
採用発表	各コース出発前
採用発表	キャンパス間留学の期間中

### ⑤ 建学記念奨学金（建学記念論文） 給付

学部生対象

大学院生対象

指定されたテーマに沿って論文を提出し、審査の結果、論文が優秀な学生に奨学金を給付します。

給付金額	最優秀賞 20 万円 優秀賞 10 万円 入選 5 万円
出願資格	学部生
出願期間	4 月上旬～7 月下旬（詳細は募集要項にて確認してください。）
出願方法	作成した課題論文に指定の表紙をつけ、所属キャンパスの奨学金担当へ提出してください。（実際のテーマについては、募集要項にて確認してください。）
出願書類	①作成した課題論文（文字の大きさ、余白等に指定があります。） ②指定の表紙（所属キャンパスの奨学金窓口にて配布） ③論文データ
採用発表	10 月下旬（予定）

※出願期間・出願方法が変更になる場合があります。その際はガクシー・TIPSにてご連絡します。

## 特定の学部・キャンパスに関する奨学金

※入学後に公募される奨学金のみを掲載しています。入学前に募集を実施する奨学金については本学 HP をご確認ください。

※出願期間や発表時期等については、所属キャンパスの奨学金担当に直接お問い合わせください。

※記載内容は、変更となる場合があります。

### \* 特定の学部に関する奨学金

医学部・工学部航空宇宙工学科航空操縦学専攻独自の奨学金制度



対象：医学部

#### ① 医学部医学科奨学金（2種） 給付

給付金額	年額 120 万円（各学期 60 万円）
出願資格	2 年次以上 ※前年度留年者は対象外 前年度までの成績を審査し、 <u>人物、学業成績ともに優れ</u> 、かつ、卒業後、 <u>本学医学部および本学医学部附属病院機関において活躍が期待される者</u> 公募：出願者の中より審査、選考します。
出願期間	4 月 6 日（月）～4 月 17 日（金） ※締切を過ぎてからの提出は一切受け付けません。
出願書類	願書（WEB 申請）
出願方法	TIPS にて案内
採用発表	9 月上旬予定
備考	医学部医学科奨学金（1 種）と〈ひまわり〉併願・併給不可 ※医学部医学科奨学金（1 種）は大学が選考するため公募実施なし。 （種別：給付型、奨学金額：年額 120 万円（各学期 60 万円））

#### ② 医学部医学科奨学金〈ひまわり〉 給付

給付金額	年額 120 万円（各学期 60 万円）
出願資格	・2 年次以上 ※前年度留年者は対象外 ・学費納入が困難な医学部医学科生 ・前年度までの成績、 <u>人物、経済状況を審査し</u> 、かつ、卒業後、 <u>本学医学部および本学医学部附属病院機関において活躍が期待される者</u> 公募：出願者の中より審査、選考します。
出願期間	4 月 6 日（月）～4 月 17 日（金） ※締切を過ぎてからの提出は一切受け付けません。
出願書類	①願書（WEB 申請） ②収入証明書：主たる家計の支持者、並びに、その他家計を支えている人の前年の源泉徴収票、課税証明書、確定申告書等のコピー
出願方法	TIPS にて案内
採用発表	9 月上旬予定
備考	※医学部医学科奨学金（1・2 種）と〈ひまわり〉併願・併給不可

### ③ 佐藤兼蔵貸与奨学金 貸与

貸与金額	医学科：年額 300 万円を限度 看護学科：年額 100 万円を限度 ※無利子
出願資格	医学部医学科・看護学科に在籍する学生で家計が急変し、経済状況が困窮して就学困難な者
出願期間	4月6日(月)～4月17日(金) ※締切を過ぎてからの提出は一切受け付けません。
出願書類	①願書 (WEB 申請) ②収入証明書：主たる家計の支持者、並びに、その他家計を支えている人の前年の源泉徴収票、課税証明書、確定申告書等のコピー
返還方法	長期返還：卒業後あるいは臨床研修・臨床助手修了後に返還していただきます。
出願方法	TIPS にて案内
採用発表	9月上旬予定

### ④ 医学部看護学科望星奨学金 貸与

貸与金額	月額 3 万円 (年額 36 万円)
出願資格	・看護学科生で望星奨学金の規程を理解しているもの。 ・健康にして、学業成績、人物ともに優れ、経済的支援を必要とする者
出願期間	6月上旬～7月下旬頃
出願書類	願書 ※ TIPS にて案内
出願方法	出願期間に願書を伊勢原キャンパス 1 号館 1 階 人事窓口へ提出してください。
説明会	TIPS にて案内
返還方法	貸与無利子・但し、卒業後貸与期間本学付属病院機関に勤務した場合返還を免除する。
採用発表	9月下旬予定

### ⑤ 神奈川県看護師等修学資金 貸与

神奈川県内にて看護職(保健師・助産師・看護師)の業務に従事する有能な人材を育成するため、医学部看護学科に在籍し、卒業後は「県内で看護職として従事する」意思がある学生に選考のうえ、修学資金をお貸しする制度を神奈川県が条例により設けています。この制度は貸付のため、卒業後には全額返還となる制度です。ただし、条件に合致する場合は返還免除を受けることが可能です。

貸与金額 返還要件	神奈川県公式 HP を確認
出願方法	4月初旬に希望調査を実施予定 ※詳細は TIPS にて案内予定
出願書類	希望調査後、申請資料を配布します。
推薦者 発表	5～6月予定

### 対象：工学部航空宇宙工学科航空操縦学専攻

#### 航空操縦学専攻留学奨学金 給付

給付金額	留学期間中の各セメスターにつき 50 万円 (総額 150 万円)
対象者	ノースダコタ大学の実機訓練課程履修者全員

## キャンパス奨学金

熊本キャンパス・阿蘇くまもと臨空キャンパス、札幌キャンパスの特色に合わせた独自の奨学金制度となっております。



対象：熊本キャンパス・阿蘇くまもと臨空キャンパス

#### アグリ奨学金 (入学前)

給付金額	第1種：20万円 第2種：10万円
出願資格	・全国農業高等学校協会が実施している「アグリマイスター顕彰」においてシルバー以上を取得している者 ・「日本学校農業クラブ全国大会」において最優秀賞を受賞した者 ・アグリ系の大会において、優秀な成績を収めたもの(大会の規模が県大会以上)
出願書類	①エントリーシート ②「アグリマイスター顕彰制度内容証明書」や「日本農業クラブ全国大会 最優秀賞」等を受賞したことを証明できるもの。
出願方法	期日までに熊本キャンパスの指定部署あてに郵送で提出する
出願期間	第1期：12月上旬(予定) 第2期：3月中旬(予定)
採用発表	第1期：1月上旬(予定) 第2期：4月上旬(予定)
採用期間	原則4年間 ※毎年度末に継続審査があります。

※採用人数は若干名となります。



対象：札幌キャンパス

#### 学業奨学金 (入学後)

出願資格	2024年度以降入学者
出願書類	採用基準に関する証明書類 (TOEIC /GTEC のスコアや英検合格証明書等) ※受験日より2年間以内の証明書のみの有効。
出願方法	期日までに札幌キャンパスの指定部署あてに必要書類を提出する。
出願時期	4月中旬～5月上旬
採用期間	1年間 ※採用年の翌年以降継続審査あり
採用種別	3つの種別に奨学金額を設定 第1種奨学金：学費(入学金、授業料)相当額 第2種奨学金：授業料の7割相当額 第3種奨学金：授業料の3割5分相当額
採用基準	別表記載のいずれかの基準に該当する者

別表

第1種	第2種	第3種
● 実用英語技能検定1級 ● TOEIC®900点以上 ● GTEC (アカデミック2技能) 450点以上 ※上記いずれもオンラインによる受験不可	● 実用英語技能検定準1級 ● TOEIC®800-899点 ● GTEC (アカデミック2技能) 400点以上 ※上記いずれもオンラインによる受験不可	● 実用英語技能検定2級 (新入生の新規採用のみ) ● TOEIC®700-799点 ● GTEC (アカデミック2技能) 350点以上 ※上記いずれもオンラインによる受験不可

## 海外派遣留学・留学生に関する奨学金

### \* 留学のために奨学金を希望の方

#### 海外派遣留学スカラシップ **給付**

学部生対象 大学院生対象

海外派遣留学プログラム参加決定者の中で GPA 条件を満たしている学生へ奨学金を給付します。

給付金額	派遣先大学・派遣期間により異なる。
対象者	海外派遣留学プログラム長期・中期留学決定者 ※奨学金給付対象コースのみ
申請	中期・長期内定者から大学で選考するため、申請は不要
出願期間	【中期・長期留学】(約3か月～11か月間) 夏季出発：1月中旬～1月下旬 予定 冬季出発：6月中旬～6月下旬 予定
採用発表	海外派遣留学出発前までに発表
採用期間	派遣期間により異なる。

詳細はこちら



### \* 本学へ留学した学生のための奨学金

#### 特待生奨学金 (在学生・留学生対象) **減免**

学部生対象

応募者の中から、人物・学業成績ともに優れた私費外国人留学生を総合的に審査し、奨学金を給付する制度です。

給付金額	留学生タイプ 20万円 / 学期 (学費納付金から減免)
対象者	①第2～8セメスターに在籍の私費留学生 (在留資格「留学」) ②通算 GPA3.90以上 (前学期成績を基準とする)
出願期間*	春学期：3月5日(木)～3月16日(月) 秋学期：9月7日(月)～9月18日(金)
採用発表	春学期採用者：4月下旬 秋学期採用者：10月下旬
採用期間	春学期：4月～9月 秋学期：10月～3月
備考	採用人数は50名とする。

※出願期間につきましては変更する場合がございます。その際はガクシーにてご連絡いたします。

#### 私費留学生対象の学外奨学金 **給付**

学部生対象 大学院生対象

大学内での選考を経て応募する「学内応募」と財団へ直接応募する「直接応募」の2種類があります。給付条件や募集期間、応募の流れ等の内容は奨学金によって異なります。募集が開始されましたら、ガクシー・TIPSにてお知らせいたします。応募の際は、各募集要項をよく確認の上、お申込みください。

留学生対象奨学金 (HP)	募集中の奨学金掲載

## 緊急時の各種支援制度

それぞれ出願条件がありますので、申請前に必ず確認し、申請してください。

### \* 東海大学の支援制度

#### ①大規模自然災害等被災学生支援 **減免** **給付**

学部生対象 大学院生対象

保証人・学費納付者が「災害救助法適用地域」に在住し被災された方に対し学費の減免を行う制度です。災害救助法が発令されましたら、対象者へガクシー・TIPSにてお知らせいたします。

金額	第1種：授業料相当額 (1年) / 給付金 10万円 第2種：授業料相当額 (半年) / 給付金 5万円 見舞金：「東海大学学生安全会」に加入している学生に対し 10万円給付
出願資格	以下①～⑤のいずれかに該当する方は申請が可能 ①家屋全壊・全焼・半壊・半焼・流失・浸水 ②学費等納付者の死亡・行方不明または重傷による入院等 ③自営業の維持および再開の見通しが立たない場合 ④学費等納付者の会社が倒産または失職等に伴い家計状況が著しく悪化した場合 ⑤家屋等破壊により生活に困窮を来している場合
出願書類	①申請書 ②罹災証明書 ③所得証明書・給付明細等の収入に関する書類 ④写真等被害状況の判るもの ⑤振込口座の通帳等のコピー (申請書記載の家計支持者名義)
出願期間	事由発生時に送付する各種支援プログラムをご確認ください。
出願方法	出願書類を所属キャンパスの奨学金担当へ提出
採用期間	1年間または半期

#### ②応急奨学金 **給付**

学部生対象 大学院生対象

家計支持者等の死亡・失職・入院等により、家計が急変し学費の納入が困難になった学生に対し、奨学金を給付します。

給付金額	授業料の半額程度 (1,000円単位は切り捨て) ※学部 40万円、大学院 20万円を上限とする。 ※申請時期が4月～9月は春学期、10月～3月は秋学期の授業料より算定する。
出願資格	(1) 以下のA～Cの要件を満たし、尚且つ①～⑤のいずれかに該当する者 A. 日本学生支援機構第二種貸与奨学金の収入基準に準ずる世帯収入であること (原則) B. 申請時に修学支援区分Ⅰ・Ⅱを受給していない者 C. 懲戒処分を受けていない者 (2) 急変事由 ①主たる家計支持者 (両親のうち収入が多い者またはこれに代わって家計を支えている者) が死亡した場合 ②主たる家計支持者が会社の倒産・解雇等により失職 ※定年退職・自己都合による退職は対象外 ③主たる家計支持者が破産した場合 ④主たる家計支持者が事故または病気により半年以上就労困難と判断された場合 ⑤その他大学が認めた場合
出願書類	①申請書 ②事由に関する証明書類 ③家計支持者の全ての収入に関する証明書 (最大12か月分)
出願期間	随時受付 (事由発生から原則3か月以内)
出願方法	出願書類を所属キャンパスの奨学金担当へ提出
採用期間	半期 (同一事由での申請は1回のみ・最大2回まで申請可)

※詳細は募集要項にてご確認ください。

### \* 日本学生支援機構の支援制度

#### ①緊急採用・応急採用 **貸与**

家計急変した場合、日本学生支援機構による緊急・応急採用の対象の貸与型支援制度です。詳細は「本冊 P.15」へ。

機構 HP →



#### ②修学支援新制度 **給付**

家計急変した場合、日本学生支援機構による授業料減免及び給付型奨学金の支援制度です。詳細は「本冊 P.25」へ。

機構 HP →



#### ③「JASSO 災害支援金」 **給付**

自然災害や火災等により被害を受けた方に対し日本学生支援機構の給付を行う制度です。

機構 HP →





## 地方公共団体・一般育英団体奨学金

各都道府県・市区町村や民間の育英団体が事業主体の奨学金です。

応募資格として、出身地域や在籍学部（学科）等を指定されることがあり、採用人数は財団ごとに異なります。募集時期も財団によってさまざまですが、多くの奨学金の募集時期は、**4月～5月**に集中します。応募形態には、大別すると次の2通りがあります。

- ①大学を經由して募集する奨学金 → 必要書類を所属キャンパスの奨学金担当に提出します。
- ②大学を經由せずに募集する奨学金 → 各自団体 HP 等で確認の上、直接申込みをしてください。

大学に募集案内があったものは、Box（ファイル共有サービス）に掲載します。そちらをご覧ください。  
ガクシー内に募集要項がない団体がありましたら、所属キャンパスの奨学金担当にお問い合わせください。



①大学を經由して募集する奨学金 (所属キャンパスの奨学金担当に提出する)		②大学を經由せずに募集する奨学金 (直接申込み)	
<b>申込書の準備・提出</b> 募集要項で、出願資格や必要書類等を確認・準備し、所属キャンパスの奨学金担当に提出してください。	<b>申込書の準備</b> 募集要項で、出願資格や必要書類を確認・準備してください。  ※大学で記入が必要な書類がある場合は、所属キャンパスの奨学金担当に依頼してください。(記入にはお時間を要するため、日にちに余裕をもって依頼してください。)	<b>各団体へ推薦</b> 大学推薦の場合は、大学で取りまとめ各団体へ送付します。	<b>各団体へ申込</b> 必要書類を揃えて、各自で団体に申し込んでください。
<b>学内選考</b> 出願締切後、学内選考を行います。推薦内定者にはガクシー・TIPSで連絡します。学内選考に漏れた方には連絡しませんので、ご承知おきください。学内選考のない奨学金については、直接団体に推薦します。			
<b>採否の決定</b> 団体からの採否通知が届き次第、該当者にガクシー・TIPSで連絡します。大学から推薦された場合でも各団体での選考の結果、不採用となる場合があります。	<b>採否の決定</b> 団体より直接選考結果が届きます。		

### 地方公共団体・一般育英団体奨学金に応募する際の注意事項

- ①出願資格を満たしているか、よく確認してください。
- ②推薦書は原則指導教員にお願いしてください。(財団によって指示が異なります)
- ③記入個所に漏れはないか、必要な書類は揃っているか、よく確認してから提出してください。
- ④提出方法を確認し、提出期限は守ってください。なお、大学経由の提出期限は、大学内での提出期限があるため募集要項の提出期限とは異なりますので、注意してください。

## 地方公共団体奨学金・一般民間育英団体奨学金

2025年度に募集を行った地方公共団体奨学金・一般育英団体奨学金（一部）

①大学を經由して募集する奨学金						
対象	名称	種別	金額(単位・円)	主な資格条件	募集期間	学内選考
学部生・大学院生	公益財団法人 紀文・保戸記念財団	民間 給付	50,000円/月	・日本の食文化の発展及び継承、地域社会の振興に寄与することを目的とする者	4月上旬～5月上旬	
	公益財団法人 日揮・実吉奨学会	民間 給付	400,000円/年	・理系の学部学科/研究科専攻に所属する者 ・学業、人柄ともに優秀 ・経済的に奨学金が必要な者	4月中旬～5月上旬	○
	公益財団法人 首藤奨学財団	民間 給付	700,000円/年	・医学研究科・医学部に所属する者 ・学業、人柄ともに優秀	9月中旬～11月中旬	○
	札幌市教育委員会 札幌市奨学金	地方 給付	9,000円/月	・本人または保護者のどちらか一方が札幌市内に居住している者	3月上旬～4月中旬	
学部生	公益財団法人 マース奨学財団	民間 給付	50,000円/月	・学業、人柄ともに優秀 ・心身ともに健康 ・経済的に奨学金が必要な者	3月中旬～5月上旬	○
	福島県教育委員会 福島県奨学資金	地方 貸与	40,000円/月	・福島県の高校を卒業した者 ・大学入学を目的とした移転をするまで福島県に引き続き6か月以上住所を有している者	4月上旬～6月中旬	
大学院生	公益信託 萬谷記念かながわ奨学基金	民間 給付	修士：800,000円/年 博士：1,200,000円/年	・理学系、工学系の研究科専攻に所属する大学院（修士・博士前期・博士後期）1年生 ・学業、人柄ともに優秀 ・心身ともに健康	2月中旬～4月中旬	○

②大学を經由せずに募集する奨学金（直接応募）						
対象	名称	種別	金額(単位・円)	主な資格条件	募集期間	
学部生・大学院生	公益財団法人 似鳥国際奨学財団	民間 給付	50,000円～80,000円/月	・日本国籍あるいは在留資格が永住者/定住者の学部生/大学院生（修士・博士前期）	上期：9月上旬～11月下旬 下期：2月中旬～5月中	
	公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団	民間 貸与	学部：50,000円～60,000円/月 院生：70,000円～100,000円/月	・沖縄県内に住所を有する者の子弟、(両親又はいずれかが沖縄県内に住所登録していること)	4月上旬～5月上旬	
学部生	公益財団法人 クリハラント記念財団	民間 給付	60,000円/月	・理工学系の学部学科に所属する者 ・学業優秀 ・経済的に奨学金が必要な者 ・民間団体の給付支給奨学金を受給していない者	4月上旬～5月上旬	
	一般財団法人 あしなが育英会	民間 貸与	一般：40,000円/月 特別：50,000円/月	・保護者が病気や災害、自死などで死亡、または1級から5級の障がい認定を受けている家庭の学部生/大学院生	4月中旬～5月下旬	
大学院生	大田区福祉部 福祉管理課 大田区奨学金	地方 貸与	44,000円/月	・貸与を開始する日の1年前から、引き続き大田区に居住している保護者等から扶養されている者	4月下旬～6月上旬	
	一般財団法人 神山財団	民間 給付	300,000円/年	・絵画を制作している大学院（修士・博士前期）1年生 ・将来的に美術を通じて文化の向上・芸術の振興に貢献する志をもつ者	5月上旬～6月中旬	
	公益財団法人 伏見記念財団	民間 給付	修士：30,000円/月 博士：50,000円/月	・日本の歴史、文化に関する研究を行っている大学院生	6月上旬～7月下旬	
	公益財団法人 花王芸術・科学財団	民間 貸与	A50,000円/月 B80,000円/月	・芸術学系、科学系の研究科専攻に所属する大学院（修士・博士前期）1年生 ・経済的に奨学金が必要な者	3月下旬～5月中旬	

### ○公募奨学金の注意事項

- (1) 申請資格は奨学金毎に決められています。募集要項を読み、資格を充分満たしているかを確認し、申し込んでください。なお、募集人員が決まっている奨学金もあり、学内で推薦選考が行われます。申請すれば必ず採用されるとは限りません。
  - (2) 他団体と併用不可の場合があります。申請時に応募資格をよく確認してください。
  - (3) 申請書類として、指定の申請書以外に世帯の収入証明、所得控除の証明、学業成績証明書等が必要となる場合があります。
  - (4) 貸与奨学金は、返還を伴う奨学金であることを念頭に置き、金額は必要最低限にしましょう。なお、奨学金は確実に返済してください。返済が滞ると後輩の採用に大きな影響があります。
- 地方公共団体や民間企業による日本学生支援機構貸与奨学金の返還支援などもあります。詳しくは、ガクシーを確認してください。

## ▲ 学費融資制度

学費納入が困難な学生を対象に、本学と提携した信販会社の教育ローンを導入しています。  
(お問い合わせ・お申し込みについては、直接、各金融機関へお尋ねください。)

大学 HP



**本学提携機関** ※ QR コードで HP に移行します。

金融機関名 ローン名	ローン概要	融資限度額	問い合わせ先
信販会社	※審査は最短 1 日 ※ Web で 24 時間 365 日 お申し込み可能	500 万円以内 医学部医学科のみ 2,000 万円以内	コンシューマデスク TEL 0120-338-817 受付時間 10:00 ~ 19:00
		500 万円以内 医学部医学科のみ 1,000 万円以内	オリエントコーポレーション 学費サポートデスク TEL 0120-517-325 受付時間 9:30 ~ 17:30
		500 万円以内 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻・ 医学部医学科のみ 2,000 万円以内	SMBC ファイナンスサービス カスタマーセンター TEL 050-3827-0375 受付時間 9:30 ~ 17:00

**本学取扱い機関** ※ QR コードで HP に移行します。

金融機関名 ローン名	融資限度額	問い合わせ先
公的機関 日本政策金融公庫 【国の教育ローン】	350 万円以内	教育ローンコールセンター TEL 0570-008656

◎日本政策金融公庫とは、提携を結んでおりません。

◎融資条件や融資金利については、各金融機関によって異なります。希望する金融機関へお問い合わせください。

◎詳細についてはホームページを確認してください。

## ▲ 学費延納制度

経済的な理由などにより、期限までに学費が納入できない場合は、学費延納の手続きをとることができます。  
延納を希望する場合は、所属のカレッジオフィス学籍担当にご相談ください。

### 学費延納願提出期限および延納願提出時の学費納入期限

★基本的な学費の納入期限：春学期 4月20日  
秋学期 10月20日

※納入期限が金融機関の休業日の場合は、翌営業日が納入期限になります。

※延納願等についてはホームページ等をご確認ください。

### ■ 学費・諸会費一覧

2026年度の学費・諸会費はホームページをご確認ください。

〈学部・学科〉



〈研究科・専攻〉



## よくある質問

**Q** 大学で奨学金を受給したいのですが、どのように情報を得たらよいですか？

**A** 各種奨学金の募集案内はガクシー・TIPSにて案内をします。まずは、ガクシーへ登録を行なってください。登録方法はP.4～6を参照してください。

**Q** 奨学金を申請したいと思っていますが、いつまでに申請をすればよいですか？

**A** 各種奨学金の申請時期はスケジュールを参照してください。奨学金の種別によって募集時期が異なります。募集はガクシー・TIPSからご案内いたします。

**Q** 奨学金を申し込むためにどのような条件がありますか？

**A** それぞれの奨学金で独自の基準（家計基準・学力基準など）が設けられています。詳細はそれぞれの奨学金の募集内容（募集要項等）を確認してください。

**Q** ひとり親世帯ですが、それによって受けられる給付型奨学金や授業料減免はありますか？

**A** ひとり親世帯であることで採用が確定する奨学金や授業料の減免制度はありません。生計維持者の人数に関わらず、収入金額や世帯人数、通学形態（自宅・自宅外）等を考慮し、総合的に判定されます。

**Q** 複数の奨学金を同時に受けること（併給）は可能ですか？

**A** 奨学金の種類によって、同時受給（併給）が可能なものとそうでないものがあります。経済支援型の奨学金と奨励型の奨学金はおおむね同時受給が可能です。また、日本学生支援機構貸与奨学金・修学支援新制度と東海大学独自の奨学金は併給可となります。地方公共団体・一般育英団体奨学金の併給可否については、各財団により異なります。それぞれの募集要項を必ず確認してください。

**Q** 奨学金は申し込みれば必ず受けられますか？

**A** 奨学金の採用は、それぞれの奨学金制度の条件に従い、家計状況および成績等を基にして選考されます。採用枠が設けられている奨学金は、出願条件に合致しているからといって、必ず採用されるわけではありません。

**Q** 大学で借りた奨学金はいつ返せばいいのですか？

**A** 日本学生支援機構貸与奨学金は卒業後に返還することになります。期間は、貸与総額により異なりますが、最長で20年間返還していくことになります。大学卒業後に大学院へ進学・資格試験の準備等によりすぐに返還ができない場合、返還の猶予を願い出ることもできます。

**Q** 奨学金に関して質問があります。どこに問い合わせれば（どこの窓口に行けば）いいですか？

**A** P.37に問合せ先一覧を掲載しております。奨学金の種別・所属キャンパスにより問合せ先が異なりますのでご注意ください。

### ■ 受験生対象奨学金情報【2027年度入学者対象】

大学独自の奨学金



入学前から申し込み可能な  
地方公共団体・一般育英奨学金



## 📧 問い合わせ先 📞

ご自身が通学しているキャンパスの窓口をご利用ください。

※総合理工学研究科・生物科学研究科は、それぞれ所属する研究室により所属するキャンパスが異なります。

キャンパス	窓口	場所	メールアドレス	電話番号	対応時間
湘南キャンパス	HSCO (ヒューマンソサエティ カレッジオフィス)	14号館1階	hSCO-shiens@tokai.ac.jp	0463-63-4201 (直通)	【平日】9:00～17:00 【土曜】9:00～16:00
	WBCO (ウェルビーイング カレッジオフィス)	1号館1階	wbco-scholarship@tokai.ac.jp	0463-63-4350 (直通)	
	SECO (サイエンス・ エンジニアリング カレッジオフィス)	19号館1階	seco-scholarship@tokai.ac.jp	0463-63-4210 (直通)	
	GCCO 湘南 (グローバルシチズン カレッジオフィス湘南)	14号館1階	gcco-scholar@tokai.ac.jp	0463-63-4370 (直通)	
品川キャンパス	グローバルシチズン カレッジオフィス (GCCO) 奨学金担当	1号館1階	t-gakusei@tokai.ac.jp	03-5475-7179 (直通)	【平日】9:00～17:00 【土曜】9:00～16:00
伊勢原キャンパス	メディカルサイエンス カレッジオフィス (MSCO) 教学 奨学金担当	3号館1階	i-gakusei@tokai.ac.jp	0463-93-1121 (代表)	【平日】10:00～16:45 【土曜】10:00～14:00 ※第1・3・5土曜日 (病院休診日を除く)
静岡キャンパス	静岡カレッジオフィス 奨学金担当	1号館1階	s_gaku@tokai.ac.jp	054-334-0411 (代表)	【平日】9:00～17:00 【土曜】9:00～15:30
熊本キャンパス	九州カレッジオフィス 奨学金担当	熊本キャンパス新1号館1階	kuma-tokaischolarship@tokai.ac.jp	096-386-2629 (直通)	【平日】9:00～17:00 【土曜】9:00～16:00
阿蘇くまもと 臨空キャンパス					
札幌キャンパス	札幌カレッジオフィス 学生支援担当	ノースウィング1階	gt-sap@tokai.ac.jp	011-571-1992 (直通)	

※2026年度より、本学における日本学生支援機構奨学金(貸与・給付)につきましては、株式会社ガクシーへ業務委託を行っております。つきましては、日本学生支援機構奨学金に関する相談・手続き・不明点等につきましては、原則として奨学金専用ポータル(ガクシー)内チャット機能を通じてガクシー担当者へお問い合わせください。

※その他の奨学金(東海大学奨学金・地方公共団体等)に関する相談・手続き・不明点等は所属キャンパスへお問い合わせください。



MEMO :



東海大学

# 奨学金ガイド 2026



SCHOLARSHIP GUIDE BOOK



<https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/scholarship/>